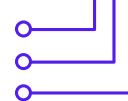




分散型サーバーで実行される

極秘通信の専門家



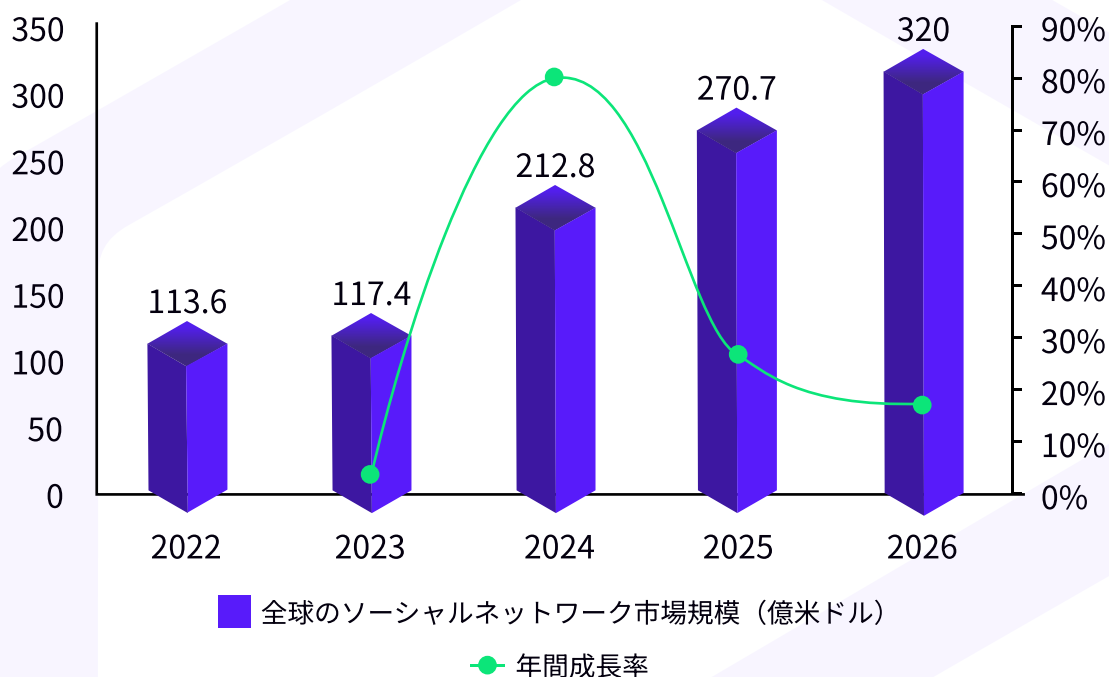


1. 市場背景

1.1 社交製品は通信の基盤である

ソーシャルネットワークは、人と人の関係をネットワーク化したものであり、インターネット上で様々なソーシャル化されたネットワークソフトウェアに外化されています。これらのアプリケーションは、機能の属性に基づいて通信ツールとソーシャルプラットフォームに分類されます。唯一無二の方向性を持つ製品であり、置き換えることのできない製品は、製品自体ではなく、ユーザーの社会的関係そのものからの粘着性です。それが即時通信ソフトウェアです。異なる時期には異なるスター製品が存在しますが、時間の経過とともに、多くの製品が徐々に衰退していきます。ただし、即時通信ソフトウェアだけは、形式を変えることはありませんが、衰退することはありませんでした。社交製品は、現代の人間のコミュニケーションの基盤であり、特にデジタル化の時代では、生活、仕事、および社交の必需品となっています。

しかし、インターネットの発展とともに、多くの社交製品が十分なセキュリティ保護を提供できないことがわかってきました。さまざまな収集と認可により、プライバシー情報が深刻な漏洩リスクにさらされています。市場にはユーザーのプライバシーを保護すると主張する製品が多数存在していますが、これらの製品は実際には真の秘密保護を提供することができず、これらのソフトウェアを使用する際は依然として注意が必要です。



2022年から2026年までの全球のソーシャルネットワーク市場規模および成長率（単位: 億米ドル、%）

ビジネスの観点から見ると



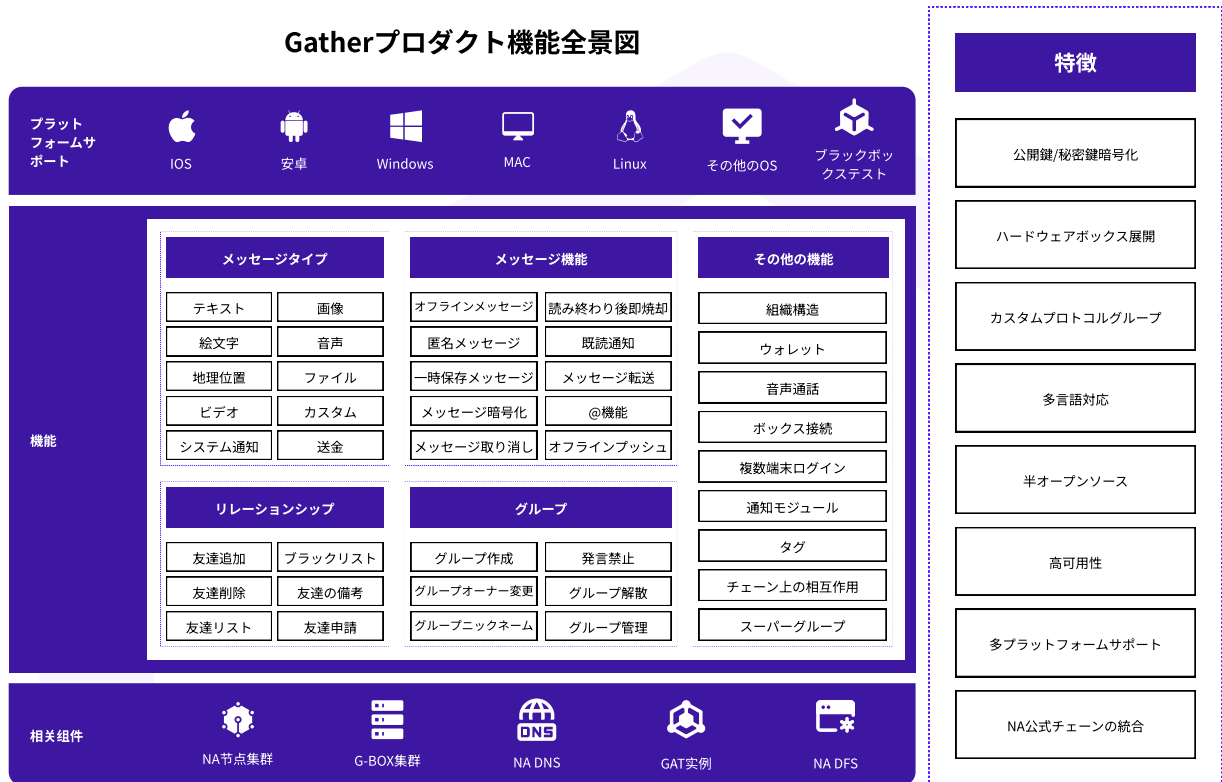
インターネットを基盤とするソーシャルは「原罪」を持っています。これまでずっと、人々は無料でインターネットソーシャル製品を使用してきましたが、私たちが無料で支払う代価は、個人情報がプラットフォームの商品として販売されることです。インターネットソーシャルメディアの主要な収益モデルは、ユーザーの行動データを分析し、広告主に対して精密な広告を提供することです。



Web3.0の技術の発展は、Gatherの機密ソーシャル製品に肥沃な土壌をもたらしました。Gatherは、ブロックチェーンと特許技術に基づいたソーシャル製品であり、現在世界で唯一真の機密ソーシャルを実現できる解決策です。Gatherは機密通信の専門家として、オンラインでのコミュニケーションをより安心して行えるようにします。

Gatherの特徴は、そのセキュリティと信頼性であり、ユーザーに非常に実用的な社交シーンと機密体験を提供します。まず第一に、Gatherはブロックチェーン技術を採用しており、情報の改ざん防止と追跡可能性を確保しています。これは、送信または受信された情報を誰もに変更できないことを意味し、同時に情報の真実性と完全性も保証しています。次に、Gatherはハードウェア技術と暗号学の原理を採用しており、チャットコンテンツが送信中に傍受または監視されることがありません。この技術はチャットコンテンツを暗号化し、受信者がメッセージを受信した後にのみ鍵を使用して解読することができます。この暗号化方式は、現在最も先進的な暗号化方式の1つであり、チャットコンテンツが解読または漏洩されるのを効果的に防ぎます。

Gatherプロダクト機能全景図



安全性と信頼性に加えて、Gatherには他の優れた特性もあります。Gatherは、自然言語を理解し、対応する返信を生成するためのAIコンポーネントを採用しています。これにより、ユーザーはGatherを使用してコミュニケーションを取る際によりスムーズで自然な体験を得ることができます。さらに、Gatherは複数の言語とテキスト入力方法をサポートしており、ユーザーはどこにいても自分の使い慣れた言語でコミュニケーションを取ることができます。

Gatherは強力な安全かつ信頼性の高い社交製品です。

その登場により、より安全で便利なコミュニケーション手段が提供されます。仕事や学習、生活のあらゆる場面で、Gatherを使用して自分のプライバシーを守り、より安心したコミュニケーション体験を楽しむことができます。

1.2 DePINに対する従来の通信構造の利点

◆ 1.2.1 固有の問題



プラットフォーム企業によるユーザー管理の独裁権

従来のソーシャル製品は多くの問題を抱えており、例えばユーザーデータの安全性やプライバシーの保護が確保されておらず、チャット履歴などのデータがプラットフォーム企業によって簡単に取得され、ビジネス目的に利用されています。一方、新興のソーシャル製品プラットフォーム企業は、ユーザーデータの安全性とプライバシー保護により重点を置き、音声認識、スマートカスタマーサービスなど、より多様な機能とサービスを提供しています。これにより、ユーザーはより便利で効率的な使用体験を得ることができます。

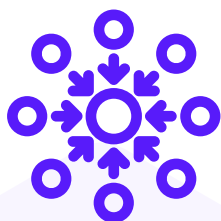
しかし、これらのプラットフォーム企業にはいくつかの問題も存在します。例えば、ユーザーデータの管理に関してプラットフォーム企業が独裁権を持っており、ユーザーは自分のデータを自由に管理できず、プラットフォーム側がいつでもユーザーを凍結したり、発言権を停止したり、さらには削除したりすることができます。したがって、ユーザーはソーシャル製品を選択する際に、異なるプラットフォーム企業のデータ管理と利用ポリシーを慎重に比較し、より安全で個性的なサービスを選択する必要があります。ただし、人為的な管理メカニズムを除外すると、データの安全性を保証するために人為的な介入が不要であることを望んでいます。何しろ、人がいる場所には常に人間関係があり、人間関係のある場所には常に人情世故があります。



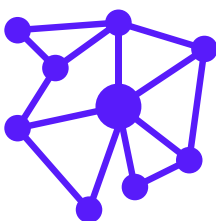
プラットフォームのトラフィック価値はすべてプラットフォームに帰属する

従来のWeb2.0インターネットプラットフォームでは、すべてのトラフィック価値はプラットフォーム自体に属しており、中心化された独占が行われています。一方、Web3.0時代における値のインターネットの興隆は、価値をユーザーに還元します。この変革の背後にある考え方は、分散化を実現し、ユーザーが自分自身のデータとトラフィックに対してより多くの制御権と所有権を持つようにすることです。

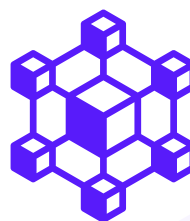
Web3.0時代は、より分散化されたガバナンスモデルとユーザー参加を強調しており、トラフィック価値をユーザーに還元することは重要な側面です。ただし、トラフィック自体は依然としてプラットフォームによって生成されますが、ユーザーが持つのは自分自身のプラットフォーム上のデータと権利です。GatherはWeb3.0の精神を尊重し、すべてのトークン消費シーンをステークやバーンモデルに設定し、Gatherプラットフォームはトラフィックから直接収益を得ることはありません。すべてのトラフィック価値はトークン保有者に還元されます。



Web 1.0



Web 2.0



Web 3.0



◆ 1.2.2 運営コスト



1. 高額な初期機器購入

従来のインターネット企業は、サーバー機器やデータセンターに多額の費用を負担する必要があります。データやユーザー数の増加に伴い、彼らは機器を継続的にアップグレードしたり交換したりする必要があり、これは彼らにとって大きな負担となります。

即時通信ソフトウェア市場も同様の問題に直面しています。インターネット企業は即時通信サービスを提供するために多額のリソースを投入し、ユーザーのリアルタイムコミュニケーションニーズを満たすためにサーバーを構築および維持する必要があります。さらに、彼らは増加するユーザーデータと情報伝達の要求に対処する必要があり、これも大規模なハードウェアの更新費用をもたらします。

これらの問題により、いくつかの小規模または新興のインターネット企業が即時通信ソフトウェア市場に参入することが困難になる場合があります。これらの企業はこれらの高額な機器購入やデータセンター投資を負担する十分なリソースを持っていないためです。これにより、市場がより寡占化される可能性があります。大手企業だけがこれらの課題に対処するのに十分なリソースと資本を持っているためです。

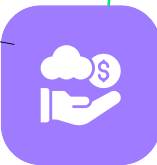
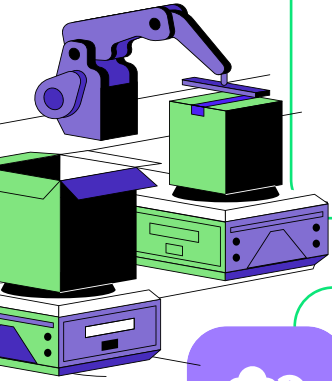
ただし、技術の進化に伴い、これらの問題を解決するための新しい解決策も登場しています。たとえば、クラウドコンピューティングや仮想化技術、Web3ノード、DePINの登場により、小規模な企業や新興企業もこれらの新しい概念を活用して機器購入やデータセンター投資のコストを削減することができます。さらに、オープンソースのソフトウェアやツールもあり、開発者がサーバーリソースやアプリケーションのパフォーマンスをより良く管理および最適化するのに役立ちます。機器購入やデータセンター投資はインターネット企業の重要な費用ですが、技術の進歩により、小規模な企業や新興企業が市場に参入しやすくなり、市場の競争と発展が促進されるという新しい解決策が見られます。

Gatherは、強力なハードウェアプラットフォームの計算とストレージリソースを最小限のコストで得るために、Web3 DePINの技術理念を先取りしています。Gatherは分散コンピューティングセンターでもあり、長期的にAIモデルトレーニング、機械学習、クラウドレンダリングなどの分野に対して自身のDePIN体系を基盤として計算リソースを提供することができます。



2. 高額な技術運用チームの人件費

従来の即時通信プラットフォームは、多くの技術スタッフがメンテナンスや管理を行う必要があるため、運用コストが高くなり、インターネット企業に大きな経済的圧力をもたらします。特に業界が不況に陥った場合、これらのプラットフォームはコストを削減するために大規模な人員削減を余儀なくされることがよくあります。しかし、これらの社交製品プラットフォーム自体が利益を上げる能力が弱い場合、高額な人件費はさらに負担となります。これに対して、Gather社は分散型の技術を採用し、ソフトウェアとハードウェアを統合し、大量の運用スタッフへの依存を大幅に減らしています。公式チェーン側とアプリケーション側の開発モデルを重視することで、Gather社は開発コストとコードメンテナンスコストを成功裏に削減しています。これらの利点により、Gather社は社交製品業界で競争力を高めるとともに、インターネット企業に新しい、より効率的な経営モデルを提供しています。



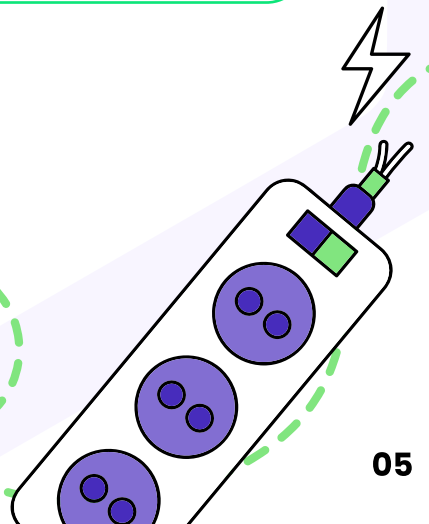
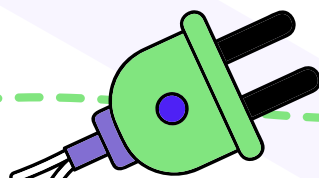
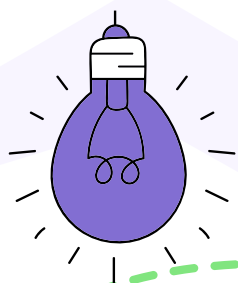
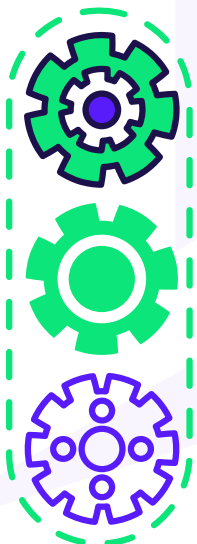
3. 高額なIDCネットワーク帯域料金と電気料金

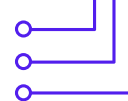
社交製品を使用する際、画像、音声、ビデオなどのファイルリソースを頻繁に送信するため、ネットワークリソースの急速な消費があり、ネットワーク帯域幅のコストが高くなります。また、チャットユーザーは会話やグループチャットのプロセスで迅速な情報の送受信を得るために、サーバーとの長時間の接続を維持する傾向があります。これは大量のネットワーク接続リソースを消費し、より多くのサーバーを展開する必要性をもたらします。さらに多くのX86アーキテクチャサーバーの展開は、より多くの電力費用を意味します。

Gatherソーシャル製品は、長年にわたり直面してきた高額なネットワーク帯域幅および電力コストの問題を革新的な方法で解決しています。Web3ノードマイニングモデルを活用して、マイナーの計算力を使用してプラットフォームに安定した効率的な運用保証を提供しています。また、トークン報酬メカニズムを通じて、マイナーに流量価値を還元し、彼らにプラットフォームに持続的な計算力を提供するよう奨励しています。

さらに、コスト構造をさらに最適化し、カーボン排出量を低減するために、Gatherはハードウェアの開発と設計に革新をもたらしています。最新のARM低電力プラットフォームを採用し、1デバイスの消費電力を30ワット以下に抑えることに成功しました。この革新的な取り組みは、プラットフォームの運用コストを削減するだけでなく、デバイスの安定性と信頼性を大幅に向上させ、プラットフォームの長期的な安定的な成長を支援しています。

これらの革新的な措置により、技術革新と持続可能な発展の分野でのリーダーシップが示され、環境責任に対する強いコミットメントが明らかにされています。私たちの取り組みにより、Gatherソーシャル製品は社交製品業界に新しい基準を設定し、将来の発展に新しいアイデアと方向性を提供します。私たちは、将来もGatherが業界の発展をリードし、皆さんにより良いコミュニケーション体験をもたらすと信じています。





◆ 1.2.3 セキュリティの問題



1. データの無制限な露出とプライバシーの不足

従来のソーシャル製品では、データの送受信はピアツーピアの通信方式に基づいており、ユーザー間の会話やファイルの送信はすべてサーバーを介して行われます。この方法は情報のリアルタイムな伝達を実現するのに便利ですが、データの安全性とプライバシー保護に関する問題も引き起こします。

一方、ソーシャル製品はユーザーの日常的なコミュニケーションに重要なツールとして位置付けられており、そこに含まれる個人情報やファイルなどの機密データはしばしばサーバーに記録されます。これらのデータは、ハッカーによって盗まれたり、政府機関によって悪用されたりする可能性が高く、ユーザーのプライバシーと安全に脅威をもたらします。

これらの問題に対処するため、Gatherソーシャル製品は分散型の技術を採用し、分散型のネットワークアーキテクチャと暗号化アルゴリズムを使用して、ユーザーデータの安全性とプライバシーを確保しています。具体的な対策は以下の通りです：



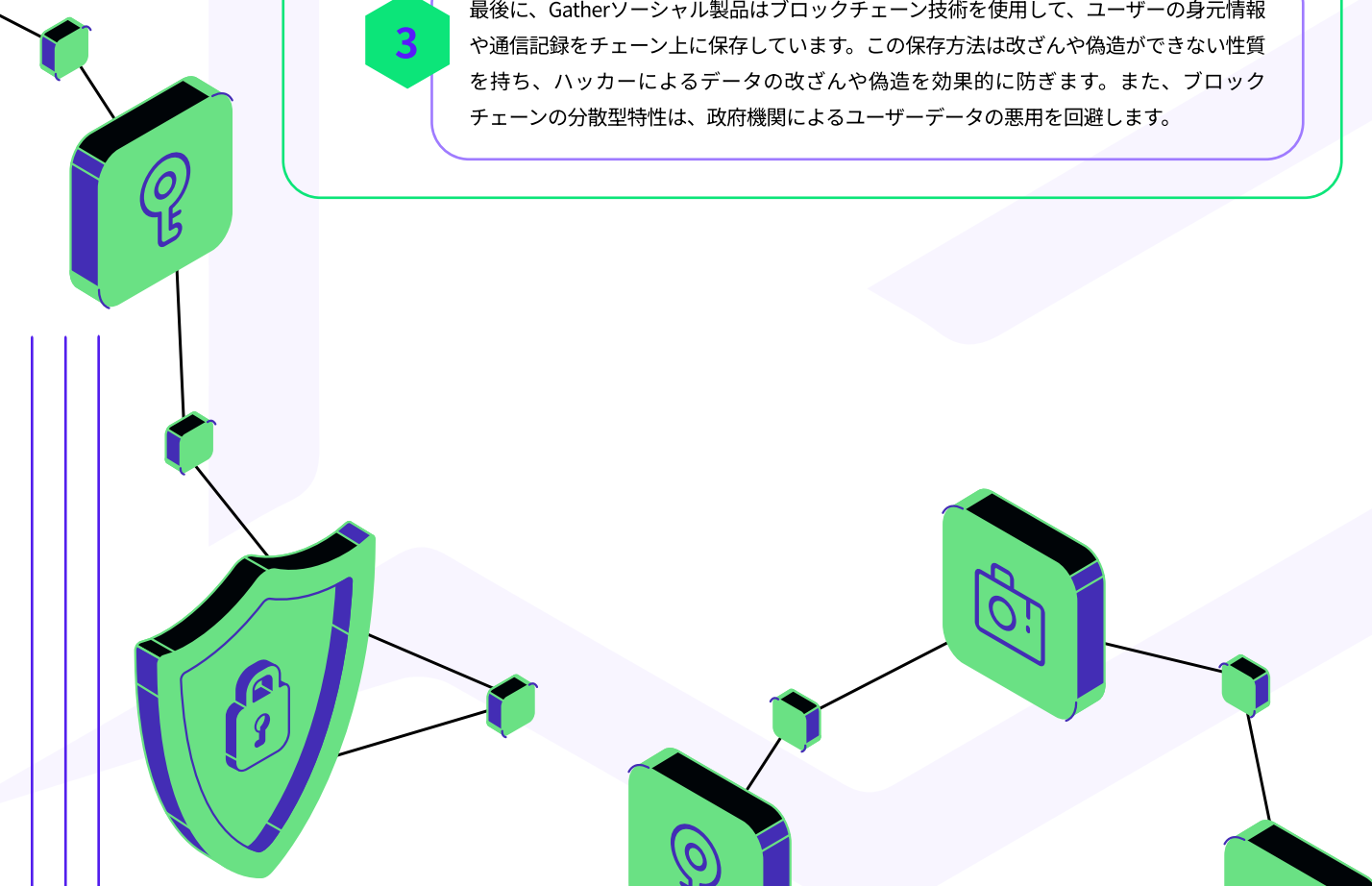
まず第一に、Gatherソーシャル製品はエンドツーエンドの暗号化技術を採用しており、ユーザー間の会話やファイルの送受信がすべて暗号化されています。したがって、ハッカーがユーザー間の通信データを傍受しても、その内容を解読することはできません。

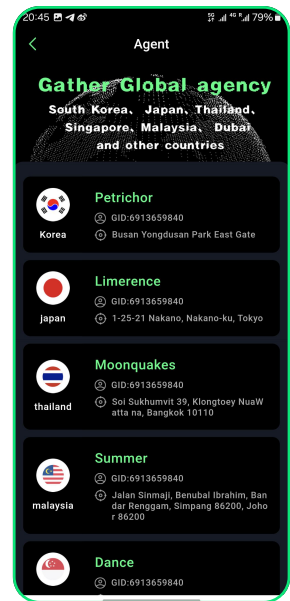
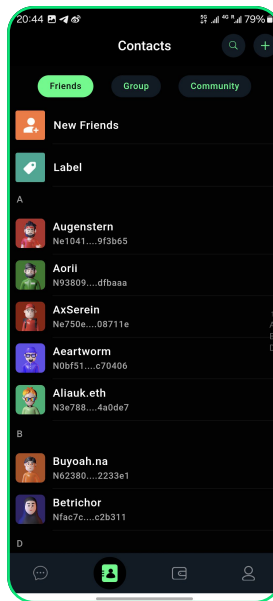
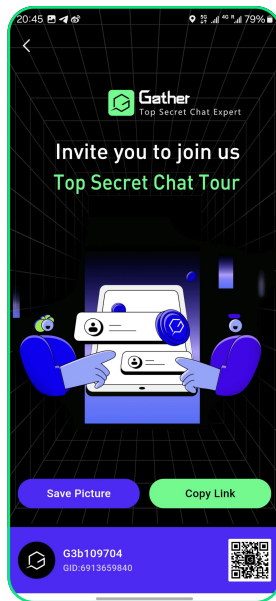
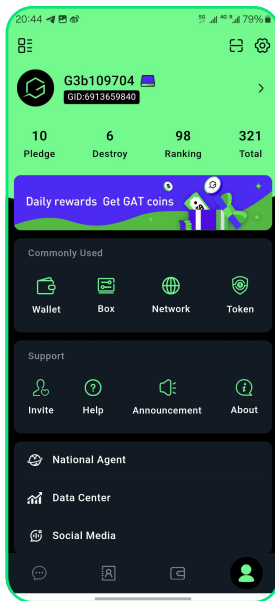


次に、Gatherソーシャル製品は分散型のネットワークアーキテクチャを採用しています。サーバーの役割を各ノードに分散させることで、ユーザー間の通信が直接ノード間で行われ、中央集権的なサーバーを介する必要がありません。これにより、情報の伝達効率が向上し、ハッカー攻撃のリスクが低減します。



最後に、Gatherソーシャル製品はブロックチェーン技術を使用して、ユーザーの身元情報や通信記録をチェーン上に保存しています。この保存方法は改ざんや偽造ができない性質を持ち、ハッカーによるデータの改ざんや偽造を効果的に防ぎます。また、ブロックチェーンの分散型特性は、政府機関によるユーザーデータの悪用を回避します。





2. 人為的要因による個人情報またはビジネスの秘密漏洩

技術的なデータセキュリティとプライバシー保護の問題に加えて、人為的な要因も個人情報やビジネスの秘密の漏洩を引き起こす可能性があります。従来のソーシャル製品では、ユーザーが個人情報を入力したり、プロフィール写真をアップロードしたりすることで、プラットフォームがユーザーの機密データに接触する機会があります。プラットフォームに管理の欠陥があるか、内部スタッフがセキュリティ意識を欠いている場合、ユーザーデータの漏洩が発生する可能性があります。

このような人為的な要因によるデータ漏洩問題に対処するために、Gatherソーシャル製品は以下の対策を講じています。

データの収集と保存を最小限に抑える。 Gatherソーシャル製品は、ユーザーの機密データの収集と保存を可能な限り最小限に抑えるように設計されています。例えば、私たちはローカルでの暗号化ストレージを採用し、ユーザーのチャット履歴やファイルをローカルに保存し、サーバーにアップロードすることはありません。また、すべての送信データは暗号化されています。さらに、必要最小限の場合にのみ、ユーザーの基本情報を収集し、暗号化された形式で保存しています。デザイン思想として、Gatherはテクノロジーオペレーションレスを採用し、ハードウェアデバイスとソフトウェアが人の介入なしに優れた機能を発揮できるようにしています。

これらの対策により、Gatherソーシャル製品はユーザーのプライバシーと安全性を確保するために積極的な探求と実践を行っています。技術の進歩と普及に伴い、将来的にはプライバシー保護とデータの安全性がすべてのインターネット企業の基本的な責任と必須能力となると信じています。

◆ 1.2.4 監督問題



1. 過度な監督によるコミュニティネットワーク資産の流出

従来の中央集権的な自動監督がまだ成熟していないため、多くのチャットグループで誤って運営が停止されることがあります。結成されたばかりのコミュニティが閉鎖され、多くの人脈資産が失われます。この問題を解決するために、Gatherはグループの管理権限をユーザーに最大限戻し、グループの運営者やDAO組織にコミュニティの苦情や監督などを担当させます。



2. 技術的な規制による機能体験の制約、従来のグループ対Gatherグループ

従来の中央集権的な自動監督がまだ成熟していないため、多くのチャットグループで誤って運営が停止されることがあります。結成されたばかりのコミュニティが閉鎖され、多くの人脈資産が失われます。この問題を解決するために、Gatherはグループの管理権限をユーザーに最大限戻し、グループの運営者やDAO組織にコミュニティの苦情や監督などを担当させます。

従来のソーシャルアプリのグループはチャットしかできず、メンバーを科学的に管理することができず、エコシステムアプリと連携することもできません。

Gatherの万人グループ：グループ管理は簡単ではありません。グループの雰囲気を積極的にポジティブなものに保ちつつ、情報の精度を確保し、メッセージの不要な重複を防ぎ、グループの閲覧品質を低下させないようにする必要があります。Gatherの万人グループモジュールでは、グループ管理者が絶対的な管理権限を持ちます。たとえば：

- 他人が無許可で参加するのを防ぐために、相互に友達を追加しないように設定できます。
- 文明的で調和のとれたグループ環境を確保し、低レベルな参加者が不満を晴らしたり、否定的な発言をしたりするのを防ぐために、特定のメンバーを禁止するか、メッセージを強制的に削除したり、特定のメンバーのメッセージを削除してからそのユーザーがグループに再度参加することを禁止することができます。
- 空き時間やオンライン会議の効率を高めるために、1時間内は全員が発言できないように設定し、管理者だけがメッセージを送信できるようにします。
- DAO組織メンバーのコンセンサス管理のために、グループ内でプロジェクトの算力投票決議を設定できます。プロジェクトに参加するメンバーは、自動的にそのプロジェクトのメンバーグループに拉致され、メンバーがプロジェクト紹介を見逃すことがないようにします。プロジェクト情報がグループ内で完全に固定されており、新しいメンバーにプロジェクトの紹介を繰り返し送信する必要がありません。

グループメンバーがプロジェクトDAPPにアクセスしたい場合は、グループメッセージのトップにあるプロジェクトアプリにアクセスするだけです。など、一連の便利な操作により、万人グループの科学的管理が大幅に向上し、グループメンバーとプロジェクトの関係の緊密さと粘着性が向上します。

通常のビジネスグループでは、顧客は中間業者を介さずに直接ビジネス担当者/原料供給者と連絡を取りやすく、企業は顧客資産を失いやすくなります。

Gatherのグループオーナーは、ソーシャル関係の主導者として、ビジネスグループを立ち上げ、すべてのメンバーの情報を隠すことができます。グループメンバーのGID、ウォレットアカウント、ユーザーのニックネーム、プロフィール写真などを非表示にし、メンバーの一時的な身分と呼び名を設定し、グループ内でビジネスに関連するすべての情報がグループ内でのみ共有されるようにします。グループオーナーは、この関係の主導的地位を持ちます。

多くの仲介会社、保険会社、金融会社では、顧客がビジネス担当者によって非公式に他の場所で取引されることがよくあり、ビジネス担当者が退職すると、顧客資産が失われる可能性があります。



企業がGatherのビジネスグループを使用して作業を調整すると、すべての作業コミュニケーションがグループ内で行われ、非公式なコミュニケーションによる論争やルール違反によるリスクが回避され、顧客のプライバシーと企業の顧客資産が大幅に保護されます。

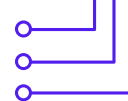
多グループの管理は、グループオーナーにとって常に大きな課題であり、時間と情報伝達の欠落を招く可能性があります。また、転送ロボットを利用するとコストがかかるばかりか、乱雑な参加者による連結グループの危険性も増加します。

◆ Gatherのコミュニティグループモジュールでは、グループ内のグループ管理が実現されます。

100個のWeChatグループを持つ大Vであるとして。同時に管理するのは困難で時間がかかり、日常的なロボットによるスパムメッセージや広告メッセージの処理も難しいため、グループが停止される可能性があります。Gatherのコミュニティグループでは、管理者が1つのメッセージをコミュニティグループに投稿するだけで、すべてのグループに同期され、メッセージ伝達の一貫性と効率が確保されます。管理者はトラブルメーカーに対して、1回だけそのユーザーを削除することで、すべてのグループでそのアカウントを同期的に検索し、キックアウトするだけです。教育機関、企業会議、オンライン学習、情報共有など、日常的な使用体験が非常に良好です。

通常のソフトウェアの大規模なグループの設立と管理は、人が審査を行います。

Gatherの大規模なグループの設立と管理はメカニズムによるものです。広く知られているように、ブロックチェーンの最大の価値は共通認識ですが、大規模な共通認識が最も価値があります。プロジェクト大規模な管理は常に複雑で、人性の試練であり、実行者はしばしば身元がはっきりしなくなり、監督が困難です。Gatherの大規模なグループ管理は、人性ではなくメカニズムに頼っています。契約を通じて、大規模なグループのルールを設定し、例えば、万コイン俣グループでは、GATを10000枚以上保持しているウォレットアカウントは、自動的にグループに拉致されます。このウォレットが10枚のGATを移動すると、ウォレット残高が大規模なグループの条件を満たさなくなり、自動的にグループから退出します。顧客の分類管理問題を解決するために、Gatherのグループ管理では、同じ基礎となる公共チェーンのいずれかのトークンを、保持している資産の数量に従って分類できます。メカニズムが人性よりも優れており、より科学的です。



1.3 Gatherのビジョン

Gatherのビジョンは、世界で最も安全なソーシャルプロダクトになることです。

革新的な技術と優れたユーザーエクスペリエンスを通じて、ユーザーに効率的で安全かつスマートなコミュニケーション環境を提供します。私たちはユーザーのニーズに応えるために新しい技術を探求し、ソーシャルプロダクト業界の持続的な発展を推進していきます。

私たちは、私たちの努力とユーザーのサポートによって、Gatherが信頼されるインスタントメッセージングアプリケーションになり、さらなる価値を創造すると信じています。同時に、私たちは積極的に社会的責任を果たし、ユーザーのデータセキュリティとプライバシーを保護し、より安全で信頼性の高いサービスを提供します。

将来の発展では、ソーシャルプロダクト市場の変化と発展のトレンドに常に注目し、さまざまなチャレンジと機会に積極的に対処していきます。私たちはユーザーを中心に据え、製品とサービスを継続的にイノベーションし、ユーザーに優れた、効率的で安全なコミュニケーション体験を提供していきます。同時に、パートナーやエコシステムとの協力を強化し、ソーシャルプロダクト業界の繁栄と発展を共に推進していきます。



1.4 未来の発展の予測

将来のソーシャルプロダクト市場はますます競争が激しくなり、従来のソーシャルプロダクトのモデルではユーザーの個性化、安全性、効率性の要求に応えることができなくなりました。

そのため、将来のソーシャルプロダクトはよりスマート、安全、および分散化された方向に進化していくでしょう。

将来のソーシャルプロダクト市場はますます競争が激しくなり、従来のソーシャルプロダクトのモデルではユーザーの個性化、安全性、効率性の要求に応えることができなくなりました。

1

まず第一に、スマート化がソーシャルプロダクトの重要な発展方向になるでしょう。人工知能技術の適用により、ソーシャルプロダクトはユーザーの言語と行動をより良く理解し、ユーザーによりスマートなサービスと推薦を提供することができます。同時に、ソーシャルプロダクトはスマートなデータ分析により、ユーザーの使用体験と効率を向上させることができます。

2

次に、セキュリティ化がソーシャルプロダクトの必須要件になるでしょう。ハッカー攻撃やデータ漏洩の頻発に伴い、ユーザーはソーシャルプロダクトのセキュリティに対する要求がますます高まっています。将来のソーシャルプロダクトは、より高度な暗号技術やデータ保護措置を採用して、ユーザーのデータセキュリティとプライバシーを確保することになります。

3

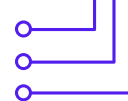
最後に、分散化がソーシャルソフトウェアの重要な発展トレンドになるでしょう。分散化のネットワークアーキテクチャとブロックチェーン技術の適用により、ソーシャルプロダクトはユーザーのプライバシーとデータセキュリティをより良く保護し、情報の伝達効率と透明性を向上させることができます。これにより、Gatherは自然なトラフィックを増やし、将来のエコシステムアプリケーションへのソフトウェアの更新とイテレーションを促進しましょう。

ソーシャルプロダクトを中心に据えたエコシステム開発戦略は、世界中の企業や政府から一致した支持を得ています。そのため、Gatherの将来の発展は、ソーシャルプロダクト自体に限らず、Gatherが影響を及ぼす可能性のあるエコシステムとビジネスの境界もGatherの発展の重要な推進力になるでしょう。

ユーザーのプライバシーと情報通信の絶対的な安全性の環境で、GatherのネットワークとGatherソーシャルプロダクトを基盤とした豊かで必要不可欠なビジネスシナリオが将来どれだけ拡大するかを想像することはできません。

要約すれば

将来のソーシャルプロダクト市場はますます競争が激しくなり、従来のソーシャルプロダクトのモデルではユーザーの個性化、安全性、効率性の要求に応えることができなくなりました。



2. 技術アーキテクチャ

2.1 通信DePINデバイス

◆ 2.1.1 ハードウェア

GBox

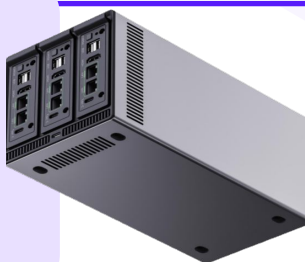
RMアーキテクチャベースの小型サーバーで、3588モデルのCPU、8GBのメモリ、32GBの外部ストレージを搭載し、Gather Xファームウェアを使用しています。このモデルは個人ノードエンドに適しており、コンパクトで低消費電力、持ち運びに便利です。



GBox

GBox Pro

GBoxのアップグレード版で、16GBのメモリと1TBの外部ストレージを使用し、いくつかの高度な機能が追加されており、3ノードバージョンに拡張することができます。中規模および大規模のデータセンターユーザーに適しています。



GBox Pro

GBox Max

X86マルチコアCPUを採用し、128GBのメモリと8TBの外部ストレージを搭載しており、より強力な性能を持っています。大規模企業や大量のデータを処理する必要があるアプリケーションシナリオに適しています。



GBox Max

GBox Cloud

クラウド環境向けに特別に設計されており、ARMアーキテクチャの3588モデルCPU、8GBのメモリ、512GBの外部ストレージを搭載し、Gather Hファームウェアを使用しています。ダイナミックな拡張、高可用性、データバックアップなどの機能を実現します。個人家庭ユーザーや小規模チームユーザー向けです。

型番	CPU	メモリ	外部ストレージ	ファームウェア	プラグアンドプレイ
GBOX	ARM 3588	8G	32G	GATHER X	-
GBOX PRO	ARM 3588	16G	1T	GATHER X	X3
GBOX MAX	X86 多核	128G	8T	GATHER X	-
GBOX CLOUD	ARM 3588	8G	512G	GATHER X	-

◆ 2.1.2 ソフトウェア

GProto通信プロトコル

Gatherソーシャルプロダクトで使用されるカスタム通信プロトコルで、TCPプロトコルベースで、データ転送の安全性を保証するために暗号化技術を採用しています。また、効率的なデータ転送とエラー訂正機能を備えています。

2.2 セキュリティ技術

◆ 2.2.1 エンドツーエンドデータ暗号化 (E2EE)

Gatherネットワークの暗号化データは、復号化キーを持つ人にもみ表示されます。言い換えれば、E2EEは予期しないユーザー（第三者を含む）がデータを読み取ったり変更したりするのを防ぎ、予期される読者のみがそのアクセス権と能力を持つことを保証します。同時に、Gatherはチャット内容のプライバシーを保護するためにエンドツーエンドの暗号化技術を採用しています。パスワード管理および地上クラスター無線（TETRA）では、ユーザーが暗号化と復号化の両方の機能を持ちます。

多くのメッセージングサービスでは、サーバー側でデータを送信中にのみ暗号化するように設定されています。このサーバー側の暗号化方法は、許可されていないピュアのデータを保護することしかできません。ただし、この方法では、送信者もその情報を表示できるため、データプライバシーを保護する必要があるフルプロセスでのデータの送信プロセスには適していません。

E2EEは、ユーザーがプライバシーに最も関心を持つ場合に特に適しています。プライバシーには、ビジネスドキュメント、財務データ、法的訴訟、医療状況、または個人的な会話などの機密性が含まれます。したがって、プライバシーデータを保護できない場合、企業のビジネスおよびその顧客利益に損害を与える可能性があります。

エンドツーエンドの暗号化は、データをネットワーク攻撃から保護するのに役立ちます。たとえば、2020年におけるグローバルデータ漏洩の平均コストは386万ドルであり、米国では864万ドルです。これらのコストには、違反行為の発見と対処、停止と収益損失のコスト、および企業とそのブランドへの長期的な評判の損害が含まれます。PIIが破壊されると、顧客の信頼を失い、規制当局からの罰金を受けたり、訴訟を起こされる可能性があります。

エンドツーエンドの暗号化は、暗号化されたメッセージの送信だけでなく、データストレージへのアクセスを許可する認可ユーザーを制御することも可能です。中央集権化された特権ユーザーポリシー管理システムによる粒度の細かい制御により、誰がどの情報にアクセスできるかを制御できます。さらに、キー管理相互運用性プロトコル (KMIP) に準拠した中央集権化されたキー管理システムを使用することで、企業はデータをさまざまなレベルで暗号化および保護できます。

◆ 2.2.2 アクセス制御

Gatherノードの役割と権限に応じて異なるゲートウェイアクセス制御ポリシーを設定します。

これは、システムがユーザーのアイデンティティとその所属する事前定義されたポリシーグループに基づいて、データリソースの利用能力を制限する手段です。通常、システム管理者がサーバー、ディレクトリ、ファイルなどのネットワークリソースへのユーザーのアクセスを制御するために使用されます。アクセス制御は、システムの機密性、完全性、可用性、および適法な使用性の重要な基盤であり、ネットワークセキュリティの防御およびリソース保護のための重要な戦略の1つであり、特定の制御ポリシーまたは権限に基づいて、主体が対象自体またはそのリソースに異なる権限を持つようにするものです。

Gatherのアクセス制御には、3つの要素が含まれます：主体、対象、およびアクセス制御ポリシー。

● 主体S (Subject)

リソースアクセスの具体的な要求を行うものです。特定の操作の開始者であり、必ずしも操作の実行者ではありません。ユーザーである場合もありますし、ユーザーが開始したプロセス、サービス、およびデバイスなどである場合もあります。

● 対象O (Object)

アクセスされるリソースの実体です。操作可能な情報、リソース、オブジェクトのすべてが対象になります。対象は、情報、ファイル、レコードなどの集合体である場合もありますし、ネットワーク上のハードウェア施設、無線通信の端末である場合もあります。また、別の対象を含むこともあります。

● アクセス制御ポリシーA (Access Control Policy)

主体に対する対象の関連アクセス規則の集合、つまり属性の集合です。アクセスポリシーは、一種の認可行為を反映し、対象に対する主体の特定の操作のデフォルトです。

◆ 2.2.3 セキュリティ監査

定期的にGatherシステムゲートウェイ、Gatherノードをセキュリティ監査および脆弱性スキャンし、潜在的なセキュリティリスクを発見し、適時に修復します。

これは、Gatherネットワークまたは指定されたシステムの使用状況を追跡記録し、総合的に整理するためのツールであり、ユーザー主導の保護とシステム監査保護の2つに主に分けられます。ネットワークセキュリティ監査は、ネットワークをダイナミックにリアルタイムで監視し、侵入や違反行為を見つけ出し、ネットワーク上で起こるすべてを記録し、ユーザーに証拠手段を提供します。

Gatherネットワークセキュリティ監査には、以下の機能が含まれます：

情報収集機能



監査する必要のあるデータを、ログやネットワークデータパケットなどの手段を使用して取得できる能力です。この機能の評価には、収集される情報の手段の種類、範囲、粒度（細かさ）が重要です。データパケット監査技術を使用する場合、ネットワークプロトコルのパケットキャプチャおよび分析エンジンが特に重要です。ログ監査技術を使用する場合、ログの正規化技術が製造業の基本的なスキルと専門能力を評価するポイントです。

情報分析機能



収集された情報を分析し、監査します。これは監査製品の中核であり、監査の効果が直接表れます。情報分析を実現する技術には、単純な技術としてデータベースに基づいた情報クエリと比較があります。複雑な技術には、リアルタイム関連分析エンジン技術、ルールベースの監査、統計ベースの監査、および時間系列の監査アルゴリズムなどがあります。

情報保存機能



収集された原始情報および監査後の情報を保存し、検索可能にし、証拠として使用できるようにする必要があります。この機能の実装において、大量の情報を保存する技術と監査情報のセキュリティ保護技術が重要な要素です。

情報表示機能



監査結果の表示インターフェース、統計分析レポート機能、警告応答機能、およびデバイス連携機能などが含まれます。この部分の機能は、監査の効果が最も直接的に表れるものであり、各メーカーがその能力を示す場所です。

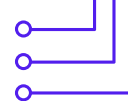
製品のセキュリティと監査可能性機能



監査製品自体も安全でなければなりません。監査データの完全性、機密性、有効性を確保する必要があります。また、監査システムへのアクセスを安全にする必要があります。さらに、監査製品へのすべてのアクセスと操作についてログを記録し、監査可能である必要があります。

◆ 2.2.4 DDoS攻撃対策

Gatherは、分散型の防御システムを通じて、効果的にDDoS攻撃から保護し、サービスの安定性と可用性を確保することができます。Gatherネットワークは、分散型のインフラストラクチャを使用して実装された分散型の高度な防御サーバーによって、着信ネットワークトラフィックをリアルタイムで監視し、潜在的なDDoS攻撃トラフィックを識別および分析します。トラフィック分析アルゴリズムと人工知能技術を使用することで、異常なトラフィックパターンを迅速に検出し、適切な対応を行うことができます。



2.3

去中心化技術

◆ 2.3.1 ブロックチェーン技術

Gatherはブロックチェーン技術を使用して、分散型の信頼機構を実現し、データの改ざん不可能性と透明性を確保します。同時に、スマートコントラクト技術を使用して自動化された管理と監視機能を実現します。

そのため、ブロックチェーンを基盤としたソーシャルネットワークでは、すべてのユーザーデータにアクセスできる中央のエンティティや人物は存在しません。ブロックチェーンネットワークを介したすべてのトランザクションは暗号化されており、P2Pネットワーク以外の他のエンティティはアクセスできません。これにより、デジタル資産と個人情報のプライバシーとセキュリティが向上します。

また、ブロックチェーンソーシャルネットワークでは、ユーザーが匿名のままプロフィールを作成できるため、これによりデータの認識と悪意のあるまたは悪意のない目的での使用のリスクが低減されます。ブロックチェーン技術はまた、データの完全性の問題を解決します。一旦ブロックチェーンに保存されると、どのデータも削除することはできず、ほぼ改ざんすることができません。ハッカーが1つのブロックに侵入して情報を変更した場合、この行動は全体のブロックの識別子または"ハッシュ"を変更し、それによって後続のすべてのブロックの完全性を破壊し、ハッカーの足跡をさらすことになります。

◆ 2.3.2 P2P ピア・ツー・ピアネットワーク

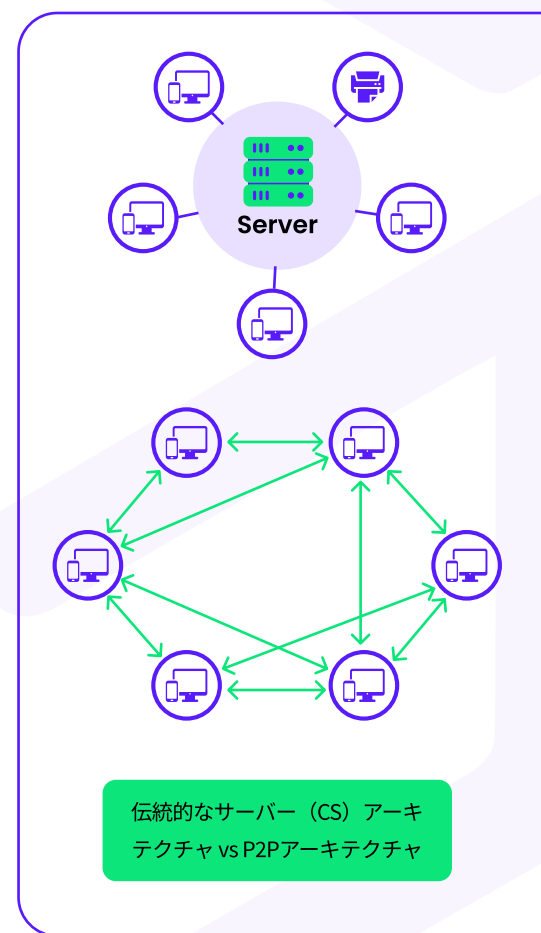
GatherはP2Pピア・ツー・ピアネットワークアーキテクチャを使用して、ノード間の直接通信とデータ転送を実現し、中央集権型サーバーの単一障害点と性能の制限を回避します。同時に、システムの拡張性と耐障害性を向上させます。

P2Pピア・ツー・ピアネットワークは、ピア同士がタスクと作業負荷を分散する分散型アプリケーションアーキテクチャであり、ピアコンピューティングモデルがアプリケーションレイヤーで形成されるネットワークまたはネットワーク形式です。

簡単に言えば

P2Pピア・ツー・ピアネットワークは、中央のノード（または中央サーバー）が存在しないネットワーク構造の考え方であり、各参加者（ノード）の地位が同等であり、サーバーとして機能し、他のノードにサービスを提供し、同時に他のノードからサービスを利用するクライアントでもあります。ピア同士は第三者の中間実体を介さずに相互にアクセスできます。

P2Pネットワークコンピューティング技術は、軍事、ビジネス、政府、通信、通信などのさまざまな分野に適用されています。具体的なアプリケーションに応じて、P2Pアプリケーションは、ファイルコンテンツの共有とダウンロード、ストリーミング技術、計算能力とストレージの共有などの側面に大別されます。



2.4 人工知能技術



自然言語処理

Gatherは自然言語処理技術を使用し、自動翻訳、テキスト分類、感情分析などの機能を実現し、ユーザー間のコミュニケーション効率を向上させます。



スマートリコメンド

ユーザーのチャット履歴や行動データを分析することで、Gatherは個別化された推薦サービスを提供できます。例えば、友達の推薦やグループの推薦などです。



スマートカスタマーサポート

Gatherはスマートカスタマーサポート機能を提供し、ユーザーの質問に自動で回答し、一般的な問題を解決します。これにより、顧客サービスの効率と品質が向上します。



Gatherシステムの人工知能サービス技術は、第三者のChatGPTを使用しています。情報漏洩の可能性が排除できないため、この機能を使用する際は、ユーザー自身が注意してください。

2.5 ビジネス機能と技術実装



グループ機能

複数のグループを作成および管理し、それぞれのグループに異なるメンバーやトピックを持たせることができます。また、禁言やキックなどの管理機能も提供しています。



ファイル転送

グループ内でファイルや画像を送信できます。ファイル転送の完全性と正確性を確保するために、分割転送と検証技術が使用されています。



リアルタイム翻訳

Gatherは多言語翻訳機能を提供し、異なる言語のチャット内容を自動的に翻訳して、異言語間のコミュニケーションを促進します。



音声からテキストへの変換

音声チャットをテキストに変換する機能をサポートし、ユーザーがチャット履歴を見やすく整理できます。



匿名チャット

匿名チャット機能を提供し、ユーザーのプライバシーとセキュリティを保護します。

2.6 技術アーキテクチャ

Gatherのソーシャル製品技術アーキテクチャは、次の部分からなります：



クライアント

ユーザーが直接使用するモバイルアプリケーションまたはPCアプリケーションで、ユーザーインターフェースとインタラクションを提供します。



サーバー側

Gather社が維持するサーバーで、クライアントのリクエストを処理し、ユーザーデータを管理します。



ブロックチェーンレイヤー

分散型信頼メカニズムを実現するためにブロックチェーン技術を使用し、分散台帳、スマートコントラクト、P2Pネットワークなどが含まれます。



AIレイヤー

自然言語処理、スマートリコメンド、スマートカスタマーサポートなどの人工知能技術を使用します。



セキュリティレイヤー

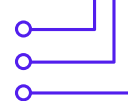
GBoxゲートウェイは、データ暗号化、アクセス制御、セキュリティ監査、DDoS攻撃対策などの複数のセキュリティ技術を採用しています。



ビジネス機能レイヤー

グループ機能、ファイル転送、リアルタイム翻訳、音声からテキストへの変換、匿名チャットなどのさまざまなビジネス機能を実装します。

このような技術アーキテクチャにより、Gatherのソーシャル製品は高度なセキュリティ、スマート化、分散化されたコミュニケーション体験を提供できます。さらに、技術のアップグレードとイノベーションがGatherの将来の発展を推進します。



3. 補助コンポーネント

3.1 メッセージルーティング

メッセージルーティングはGatherネットワークの重要な機能の一つであり、メッセージとデータを正しい宛先に転送することができます。Gatherネットワークでは、メッセージルーティングはP2PネットワークとGProtoプロトコルを使用して実現されます。

P2PネットワークはGatherの基盤の一つであり、ノード間の直接通信とデータ転送を実現することができます。各ノードは自身のルーティングテーブルを持ち、他のノードの情報を格納し、メッセージとデータを正しい宛先に転送することができます。

GProtoはGatherネットワークの重要な構成要素であり、自動化された管理と監視機能を実現することができます。GProtoは一連のルールとロジックを実行することで、メッセージの正確性と安全性を確保することができます。Gatherネットワークでは、GProtoはまた、データの改ざん防止と透明性を確保するために分散化信頼機構の実現にも使用されます。

P2P Network × GProto

P2PネットワークとGProtoの組み合わせにより、Gatherは効率的で安全、信頼性の高いメッセージルーティング機能を実現することができます。ユーザーはGatherアプリケーションを使用してメッセージを送受信することができ、下層の技術の詳細を知る必要はありません。同時に、Gatherはさまざまなビジネス機能と技術実装を提供し、さまざまなユーザーのニーズに応えます。



3.2 クラウドスペース

クラウドスペースは、Gatherネットワークでユーザーに提供される重要なサービスの一つです。これにより、ユーザーはデータとファイルをクラウドに保存し、いつでもどこでもアクセスして共有することができます。Gatherネットワークでは、クラウドスペースは分散型の分散型ストレージ技術を採用しており、データの信頼性と安全性を確保しています。また、クラウドスペースは多くの機能とツールを提供し、ユーザーがデータを管理して使用するのを容易にします。クラウドスペースの容量はGATを使用して交換され、

DFSストレージスペースを取得した後、

ユーザーはファイルの保存、チャット履歴の保存、友達関係、グループ関係、ユーザープロフィールなどの状態データを保存できます。

クラウドスペースの特徴は以下の通りです：



高可用性

Gatherネットワーク内のクラウドスペースは、分散型の分散型ストレージ技術を採用しており、データの信頼性と安全性を確保しています。



無制限のストレージ

Gatherネットワークのクラウドスペースは無制限のストレージスペースを提供し、ユーザーはいつでもどこでもデータとファイルを保存および共有することができます。



高速転送

Gatherネットワークのクラウドスペースは高速のデータ転送機能を提供し、ユーザーは迅速にデータとファイルをアップロードおよびダウンロードすることができます。



柔軟な拡張

Gatherネットワークのクラウドスペースは、ユーザーのニーズに応じて柔軟に拡張できます。ユーザーは自分の必要に応じてストレージスペースを追加したり、ストレージ構成を調整したりすることができます。



暗号化された保存

Gatherネットワークのクラウドスペースは、楕円曲線暗号化技術を採用しており、ユーザーのデータとファイルが漏洩したり改ざんされることを防ぎます。



マルチバックアップ

Gatherネットワークのクラウドスペースは、ユーザーのデータとファイルを複数のバックアップで保存し、データの安全性と信頼性を確保します。



使用しやすい

Gatherネットワークのクラウドスペースは、使いやすいインターフェースとツールを提供し、ユーザーがデータとファイルを管理して使用するのを容易にします。ユーザーはクラウドスペースアプリケーションまたはウェブサイトを通じていつでもどこでもデータとファイルにアクセスして共有することができます。

3.3 GIDユニーク識別子

すべてのユーザーは、ウォレットアドレスをユーザー名として使用することができますが、ウォレットアドレスは使用や記憶が不便なため、すべてのGatherユーザーはネットワーク全体で一意的な数字コードを申請することができます。これは迅速なユーザー識別に使用されます。友達追加などの機能の使用難易度を低減できます。

1

GIDの申請にはNAブロックチェーンのNFT造幣プロトコルが使用され、ネットワーク全体で一意的なNFT数字コードが生成されます。

2

GIDはNA名前システムを使用してウォレットアドレスとマッピングされ、バインドされます。

3.4 サーバー状態キャッシュ

スーパーノードによって状態データの同期およびキャッシュが行われます。360日以上オンラインでない場合、アカウントの友達関係、グループ関係、ユーザープロフィールがクリアされます。復元が必要な場合は、クラウドスペースから再度ダウンロードしてスーパーノードに署名ブロードキャストする必要があります。友達関係の状態データを復元するには、再登録する必要があります。

1

ユーザーAがユーザーBを友達として追加する場合、ユーザーAはGIDまたはウォレットアドレスを入力して友達を申請し、申請されたデータパケットにはユーザーAの名前と基本情報が含まれます。

2

ユーザーの友達関係は、彼自身の携帯電話にのみ存在し、持続的な保存が必要な場合は、ユーザーがクラウドスペースに保存する必要があります。

3

グループ関係、グループサーバー（サーバー）は伝統的なサーバーとは異なり、コミュニティそのものです。すべての内容、興味、トピック、関係は、これを基盤に発展しています。グループのシーンでは、どの行動を始める前に、まずグループサーバーを作成する必要があります。ユーザーが友達を招待し始めると、グループサーバーの次元で招待が行われます。つまり、ユーザーの友達はグループサーバーに参加します。それは関係の集まりです。

- グループサーバーのプロパティには、名前、アイコン、カスタムフィールドなどが含まれます。詳細な開発手順については、グループサーバー管理を参照してください。

4

ユーザープロフィール、Gatherネットワークはユーザーがユーザー情報とユーザープロフィールをローカルに保持することをサポートします。ユーザーはアプリケーションのユーザープロフィールをハードウェア端末に直接保存し、Gatherネットワークと同期し、関連するAPIを介してサードパーティが読み取り/更新/メンテナンス操作を実行することができます。

- ソーシャルシーンでは、一般的なユーザープロフィールには基本情報とその他の情報が含まれます。
- 基本情報にはユーザー名、性別、誕生日、所在地、個性的な署名、ニックネームなどが含まれます。
- その他の情報は、他のソーシャルモジュールに必要な情報です。

4. 技術の優位性

4.1 機密通信

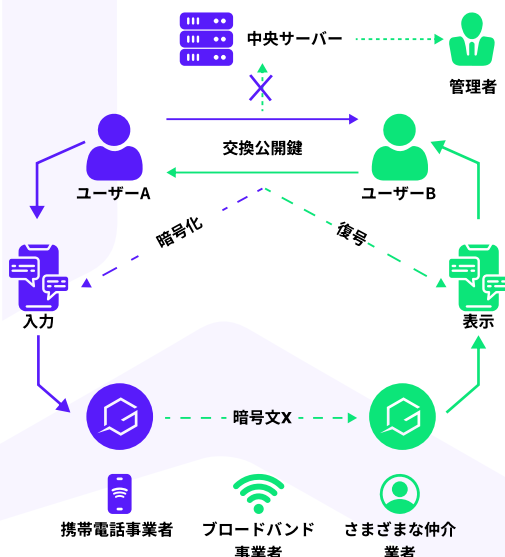
Gatherは、Web3.0の基盤となるパブリックチェーンをベースに、暗号技術とオープンネットワークプロトコルを組み合わせ、分散型の長期リンククラスターを提供するハードウェアボックスと組み合わせて、安定した分散型メッセージ交換ネットワークを提供します。



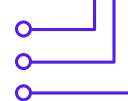
Gatherを介して送受信されるすべてのデータ（音声、電話、文書ファイルなど）は、エンドツーエンドの方式で暗号化され、中央集権化されたサーバーには保存されず、対話の両者またはグループのメンバーだけがアクセス権を持ち、電気通信事業者、ネットワーク管理者、または他の第三者に解読されることは絶対にありません。技術的にプライバシー漏洩のリスクを排除しています。

ユーザーはGatherをダウンロードし、ユーザーアカウント/ウォレットアドレスを作成し、基本機能を無料で使用できます。

4.2 情報の安全な保管



Gatherはエンドツーエンドの暗号化技術を採用して、チャットの内容のプライバシーを保証し、パスワード管理と地上クラスターラジオ（TETRA）において、ユーザーは暗号化者であり解読者です。Gatherのサーバーは、ユーザーのチャット、音声、ビデオ、画像、ドキュメントなどの情報を保存せず、中継役としての役割のみを果たし、暗号化技術を使用して、ユーザーおよび通信相手だけが関連コンテンツを見たり聞いたり読んだりできるようにします。グローバル展開により、アクセス速度とセキュリティが確保され、アプリ内のメッセージと通話の内容は、送信元デバイスを離れて受信先デバイスに到達するまで絶対的な機密保護を受けます。



4.3 情報の安全な流通

Gatherの世界では、ユーザーが個人のプライバシーに絶対的な権利を持つことを確信しています。したがって、私たちはユーザーの電話帳を収集するだけでなく、ユーザーの許可を強制することはありません。ユーザー中心のコミュニケーションプラットフォームを構築し、プライバシーと所有権をユーザーに戻します。

Gatherは**プライバシー設定、未知の人を追加する両方向の取り消し、読んだ後に焼却、ウォレットアドレスを隠す**など、慎重に設計された機能と豊富な製品機能を通じて、ユーザーのプライバシー保護をさらに強化しています。ユーザーに最も安全でプライベートなコミュニケーション体験を提供することに常に力を入れており、すべてのコミュニケーションが信頼と保護に満ちています。

4.4 抗圧運転のGProto通信プロトコル

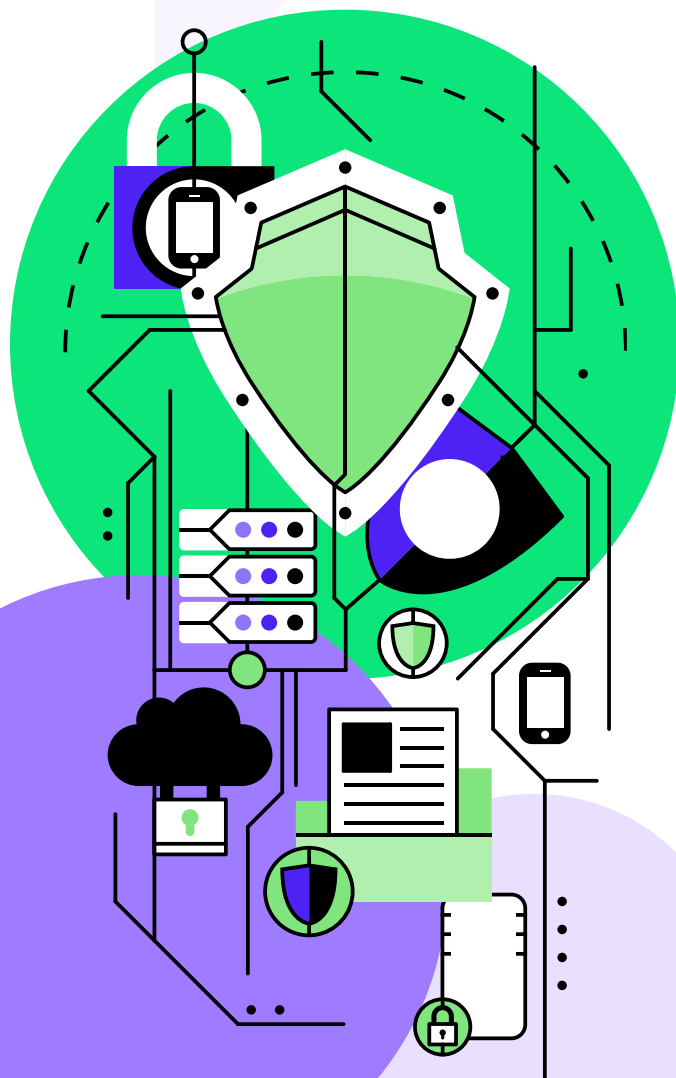
Gatherは、GProtoに基づく通信プロトコルを使用し、低品質なネットワーク環境下でも高速なデータ転送を実現し、データの安全性と信頼性を確保し、ユーザーに迅速な到達を約束します。**この先進的な技術アーキテクチャにより、Gatherは低品質なネットワーク環境の制約を受けず、ユーザーに持続的な通信体験を提供します。**どこにいても、ユーザーは安全な通信を簡単に友人や同僚と行うことができ、通信がネットワーク条件に制限されないようにします。

4.5 Web3ウォレットログイン

Gatherプラットフォームは、ユーザーエクスペリエンスの簡易性を追求し、特にウォレットログインにおいて、難関のないデジタルセキュリティ管理システムを設計し、ユーザーが簡単かつ迅速にウォレットにログインしてデジタル資産を管理できるようにします。ログインプロセスを簡素化することで、ユーザーの利便性が向上するだけでなく、デジタル資産の安全性も確保されます。

4.6 シーンの拡張性

Gatherプラットフォームは、ユーザーの多様なニーズに焦点を当てており、仕事でのビジネスコミュニケーション、日常生活のソーシャルインタラクション、友人とのカジュアルなチャットなど、さまざまな状況での通信ニーズを満たす豊富な機能シーンを提供しています。巧みなシーンデザインにより、ユーザーはさまざまなソーシャルモードに簡単に切り替えることができ、デジタルソーシャルでより包括的で快適な体験を提供します。

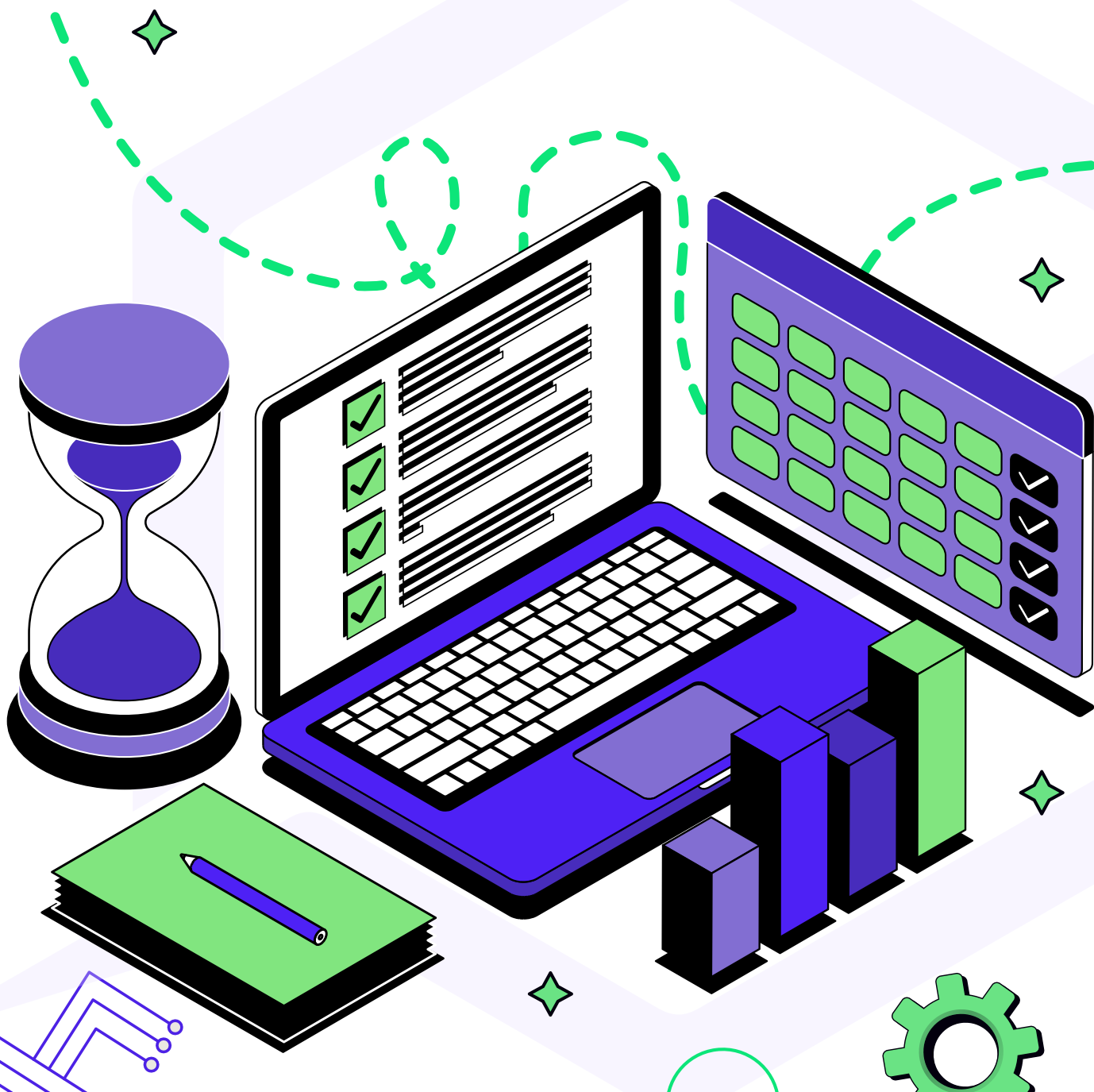


4.7 グループの強力な管理モード

Gatherネットワークでは、「一緒にいる」とは、伝統的な意味での一緒にいるだけではありません。それは新しい概念です。GatherのP2PネットワークとGProtoプロトコルを使用すると、ユーザーは個人情報を漏らすことなく、効率的なコミュニケーションと協力を実現できます。

これは、あなたが他の人と考え、感じ、情報を共有できることを意味し、同時にあなたのプライバシーが保護されることを確保します。これがGatherが「一緒にいる」を再定義するものです。

Gatherネットワークでは、生態系ステーキングに参加するユーザーはVIP機能を取得し、独自のグループを作成し、各グループはそれぞれ独自のサブグループを持つことができます。この階層的なグループ構造を使用すると、さまざまなアプリケーションシナリオを実現できます。企業間コミュニケーション、ソーシャルネットワーク、オンライン教育など。このような階層的なグループ構造を使用すると、ユーザーは管理と協力がより簡単に行えます。同時に、Gatherは「万人グループ」、「匿名ビジネスグループ」、「大口グループ」など、さまざまなツールと分類機能を提供し、ユーザーが自分のグループとサブグループを柔軟に管理できるようにします。グループ管理者は管理権限を完全に持ち、Web3.0のユーザーが価値を生み出してユーザーに還元される中心化の精神に従っています。ユーザーがステーキングを解除すると、GATは元のウォレットに戻されます。



5. Gatherネットワークの運営とガバナンス

Gatherネットワークは、ネットワーク技術インフラとしてDePINを採用した分散型アプリケーション型ネットワークであり、そのネットワークの運営と発展は、Gatherネットワーク内の価値資産であるGATを中心に展開され、Gatherネットワーク内の各エコシステムロールの使用ニーズを満たします。そして、これを基盤として、複雑なロールが互いに相互作用し、Gatherネットワークの正常な運用と持続的なインセンティブを維持します。

5.1 GATトークンの紹介

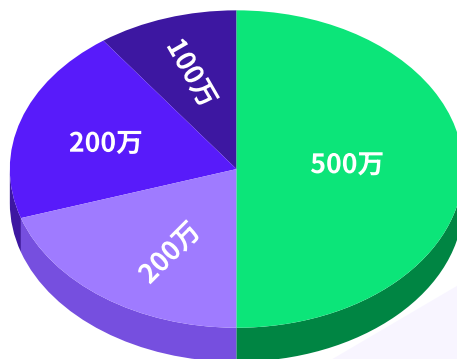
GATトークンは、Gatherネットワークの一般的な流通資産であり、Gather通信ネットワークエコシステムの価値を担い、価値化し、Gatherソーシャルネットワーク内の算力資産が等価交換される際のアンカー資産となります。エコシステムの進展とともに、GATのエコシステムガバナンス能力は、主要な価値コアの一つになるでしょう。

トークン名	総発行量	毎日の供給量	ロックアップ	減産ルール	流通
GAT	1億枚	2万枚	1000万枚	4年ごとに半減	はい

1 GATのロックアップは

次のように1000万枚に分配されます：

- ◆ 技術：500万
- ◆ 運営：200万
- ◆ 投資：200万
- ◆ 引き付け：100万



2 破棄メカニズム

エコアプリケーション内では、一部の交換機能を除き、すべての有料シーンが破棄モードです。例：広告の掲載、小プログラムの掲載。

3 最初の起動装置から

運営ロックアップから3000~5000枚を取り出し、DPoSノードの最初の起動に1つのGMTトークンを使用します。

4 GATの算力メカニズムとケーススタディの説明

Gatherハードウェアは、9000万枚を生産する作業アルゴリズムによって生成され、1日あたり20,000枚を生産し、4年ごとに半減し、最終的には1日あたり2,500枚の恒定となります。採掘は約56年かかります。

5.2 GATトークンの生産と配分

初期起動に必要なプレマイントのGAT以外のGATの生産は、最も重要な3つのエコシステムロールによって共同で行われます。

1

DePINネットワークの構築者であるネットワーク基盤提供者

2

ネットワークデータ検証者であるスーパーノード能力提供者

3

ネットワークの将来の巨大な算力価値を提供する算力ネットワーク貢献者

30%

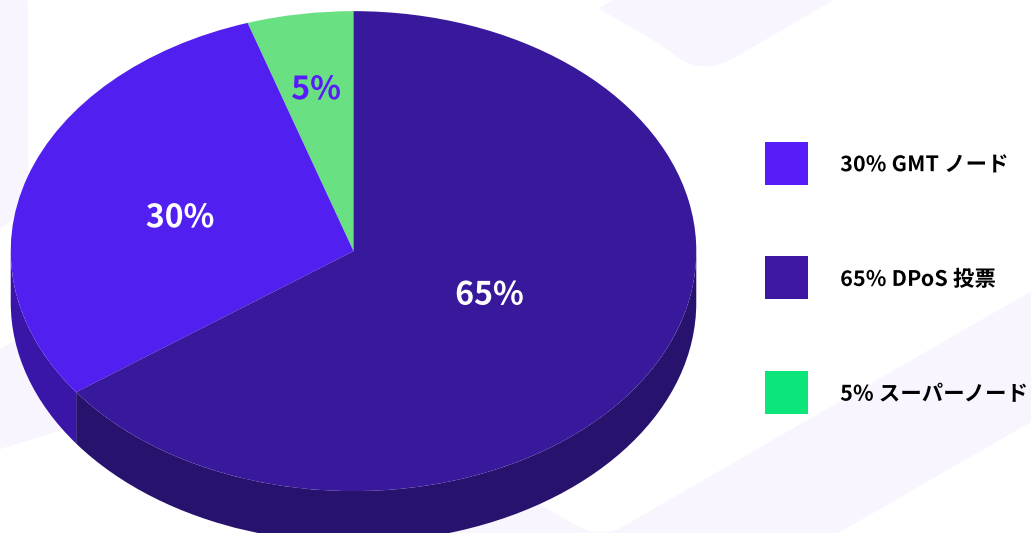
ユーザーのハードウェアの基本的な権利、すなわち DePIN ネットワーク構築者の生産能力（各 G-Box に 1 枚の GMT を配布し、GMT 有効ノードとして、30% の算力生産能力を獲得する）、この部分はユーザーが分散型ハードウェアネットワーク構築に参加した際に得られる基本的なインセンティブ収益です。同時に、ハードウェアプラットフォームのネットワークセキュリティを強化し、全体の計算能力を向上させます。

65%

ユーザーのハードウェアのネットワーク貢献ウェイト収益、DPoS 算力収益、GAT を使ってネットワーク貢献の生産能力ウェイトを得るために投票することで、各 G-Box には少なくとも 1 枚の GAT がオンラインで投票する必要があり、最大 2000 枚の GAT が有効な投票上限としています。

5%

全体の 21 個のスーパーノードの収益、スーパーノードがデータ一貫性の検証に参加した際のインセンティブ、すなわちネットワークデータ検証者の収益で、DPoS 共通機構に基づいて検証されます。



5.3 Gatherネットワークの共識メカニズム

Gatherネットワーク全体は、DPoS委任プルーフオブステーク（DPoS）投票権証明共識アルゴリズムを採用しており、NA公式チェーンをベースにGATチェーンをインスタンス化し、オンチェーンのGatherノードガバナンス機能を取得し、NA公式チェーンにノード検出および状態維持を委任します。すべてのGatherノードは、適格なノードになる必要があり、各デバイスはオンラインデバイスのノード登録を完了するために1枚のGMTハードウェアデバイスガバナンストークンを消費する必要があります。

5.4 DePINネットワークビルダー-インフラ

分散型ハードウェアネットワークの構築に参加するユーザーが獲得する基本的なインセンティブ収益。同時に、ハードウェアプラットフォームのネットワークセキュリティを強化し、全体の計算能力を向上させます。各ユーザーはGMTを使用してデバイスをアクティブ化し、成功裏に登録した後、GAT算力をロックし、ロック範囲は1GATから2000GATまでであり、算力はネットワークのエコシステムをサポートするための追加収益を得ることができます。これらのDePINネットワークビルダーノードは、全体の算力の30%の割り当てを受け取ります。

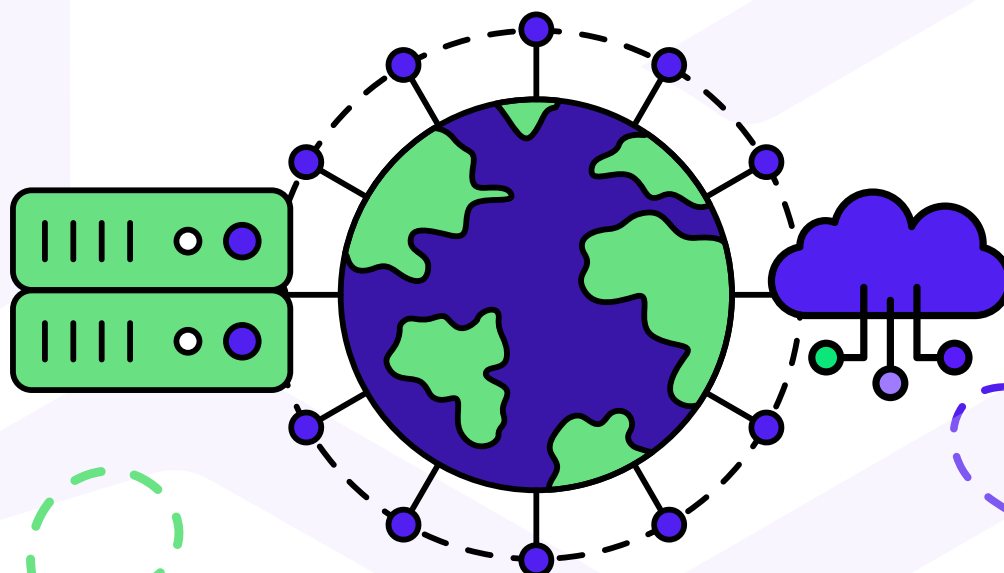
GMT算力

GMT算力は、DePINネットワークビルダーノードの数を測定するために使用されるGatherネットワーク内の単位です。DPoS共識メカニズムでは、ノードはそれぞれ対応するGMT算力を持ち、各デバイスは少なくとも1枚のGMT算力を持ちます。

GMTトークン

トークン名	総発行量	毎日の供給量	ロックアップ	減産ルール	流通
GMT	1000万枚	-	-	-	いいえ

① GMTは公式の販売装置配布によって提供され、1台の装置の販売ごとに1枚のGMTが提供されます。GMTは二次市場で取引されず、アカウントを切り替える必要がある場合、オンチェーンでノード証明書の譲渡を完了できます。



5.5 ネットワークデータ検証者-スーパーノード

◆ 5.5.1 スーパーノード紹介

1

スーパーノードは Gatherネットワークの重要な構成要素であり、ネットワークデータ検証者であり、トランザクションの検証とパッケージング、ネットワークのセキュリティと安定性の維持を担当します。DPoS共識メカニズムでは、スーパーノードはより多くの算力投票権とガバナンス機能を持ちます。スーパーノードになると、全体の5%の算力報酬を獲得できます。

2

スーパーノードになるには、ノードのハードウェア構成、ネットワーク帯域幅、ストレージスペースなど、一定の条件と閾値を満たす必要があります。同時に、スーパーノードは一定の信頼性とコミュニティの承認を持っている必要があります、コミュニティへの積極的な貢献を保証する必要があります。

3

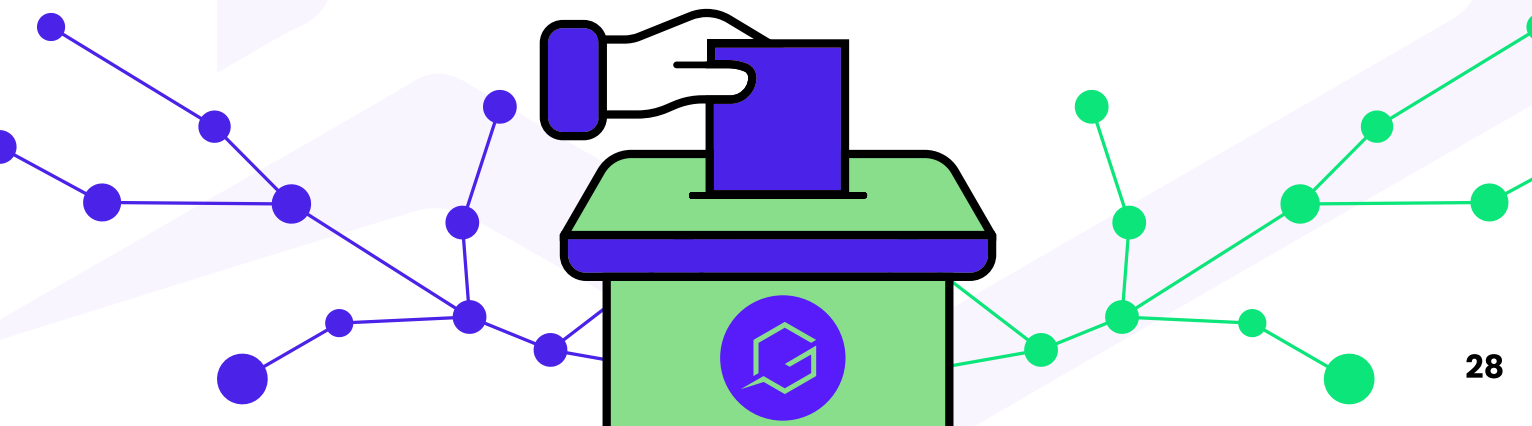
Gatherネットワークでは、スーパーノード の数は限られており、ネットワークの必要に応じて動的に調整されます。スーパーノードの選挙と生成は、DPoS共識メカニズムによって決定され、算力投票と委任によって実現されます。

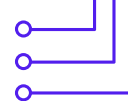
4

Gatherネットワークにおいて、スーパーノード は重要な地位と役割を果たし、ネットワークのセキュリティとパフォーマンスを向上させるだけでなく、コミュニティのコンセンサスとガバナンスを促進します。同時に、スーパーノードは一定の責任と義務を負い、コミュニティへの積極的な貢献を確保する必要があります。

◆ 5.5.2 スーパーノードの選挙方法

ユーザーはGATを使用してGatherネットワークに算力をロックする際、自分の意思に従って、Gatherネットワークにロックされた算力を自分のG-BOXハードウェアノードまたは他の任意のハードウェアノードに預託することができます。各期間に、総算力が最も高い上位21のハードウェアノードが、その期間のスーパーノードとなり、追加の5%のネットワークデータ検証者収益をインセンティブとして受け取ります。





5.6 算力ネットワーク貢献者-算力供給

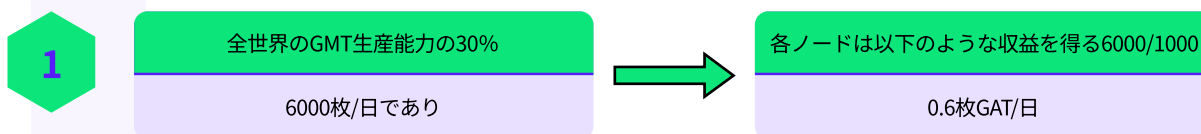
GATはGatherソーシャルネットワークの算力資産であり、GATを担保する行動は、自分のハードウェア上により多くのネットワーク算力を提供し、収益力を高めることと等価です。各ノードデバイスは少なくとも1枚のGATトークンをロックし、GMT算力とDPoS算力を受け取る必要があります。

ユーザーは一定の期間ごとに、GATを担保して自分のG-Boxハードウェアにいくつかのネットワーク算力をロックすることができ、算力投票の方法でGatherネットワークのスーパーノードの選挙に参加し、その算力情報をGatherベースネットワークにブロードキャストし、最終的に収益決済を完了します。

これらの算力ネットワーク貢献者は、Gatherネットワークから65%のGATトークン収益を得ることができます。

5.7 ケーススタディ

現在、全世界には1万台のGatherが稼働しており、つまり1万個のGMT有効ノードがあります。これらのノードは、前半期に1日あたり2万枚の生産能力を持っています。

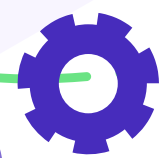
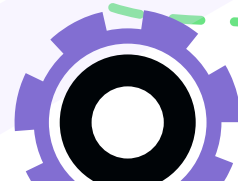


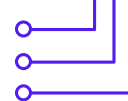
これは全てのGMTノードに平均的に分配されます

この時:

- Aが10台のGatherを所有しており、10分のGMT生産能力を持ち、 $0.6 \times 10 = 6$ 枚GAT/日を受け取ります。
- Bが100台のGatherを所有しており、100分のGMT生産能力を持ち、 $0.6 \times 100 = 60$ 枚GAT/日を受け取ります。

説明: Gatherハードウェアデバイスを所有する数が多いほど、算力収益が高くなります。これをGMTノードの算力競争と呼びます。1台のGatherデバイスは1枚のGMTをアクティブ化し、開始時に配布されます。





2

全世界のDPoS生産能力の65%

13000枚/日であり

これは全世界の総算力投票数に基づいて分配されます。

今日、ネットワークに参加しているGATの総数が20000票であるとし、したがって、1票あたりのGAT生産能力は次のとおりです**0.65枚GAT/票**。

この場合:

- Aは10台のGatherを所有し、それぞれが10票を投票しており、合計100票を持ちます。その結果、 $0.65 \times 100 = 65$ 枚GAT/日を受け取ります。
- Bは10台のGatherを所有し、それぞれが100票を投票しており、合計1000票を持ちます。その結果、 $0.65 \times 1000 = 650$ 枚GAT/日を受け取ります。

説明: DPoS共識アルゴリズムでは、参加するGATの数が多いほど、算力収益が高くなります。これをDPoS算力投票の競争と呼びます。**1枚のGATは1票を投票でき、各Gatherノードの算力投票上限は2000票です。**

3

全世界の生産能力の5%

1000枚は

最も重要な21のスーパーノードに分配されます。最初の2年間はロックされます

したがって、1日あたりの**95%のGAT生産能力**は自由に流通できます。

この時:

- AとBはどちらも同じ数のGatherデバイスを所有しており、各デバイスは1票を投票します。つまり、毎日の生産能力は $6 + 6.5 = 12.5$ 枚GAT/日です（上記1、2の計算結果を参照）。

100日後、AとBの合計生産能力はいずれも1250枚GATです。

Aは $1250 - 500 = 750$ 枚のGATを保有しています。

Bは $1250 + 500 = 1750$ 枚のGATを保有しています。

AとBの生産能力の比率は**3 : 7**です。

つまり、500枚の流通後、Aの毎日の生産能力はBよりもはるかに低くなります。これらの500枚のGATは単一のコインの流通だけでなく、算力投票権益の交換も行い、Bにより大きな算力生産能力を提供しました

まとめ

GATの算力メカニズムには、ノード競争と算力投票競争という2つの競争メカニズムが備わっており、ノード所有数と算力投票数は、GATの自由な流通において需要と供給のゲームを生み出しています。GATの価格はより健全になり、ハードウェアノードの増加とアプリケーションシナリオの担保と消費に従って、GAT市場のコンセンサスがより強固になります。

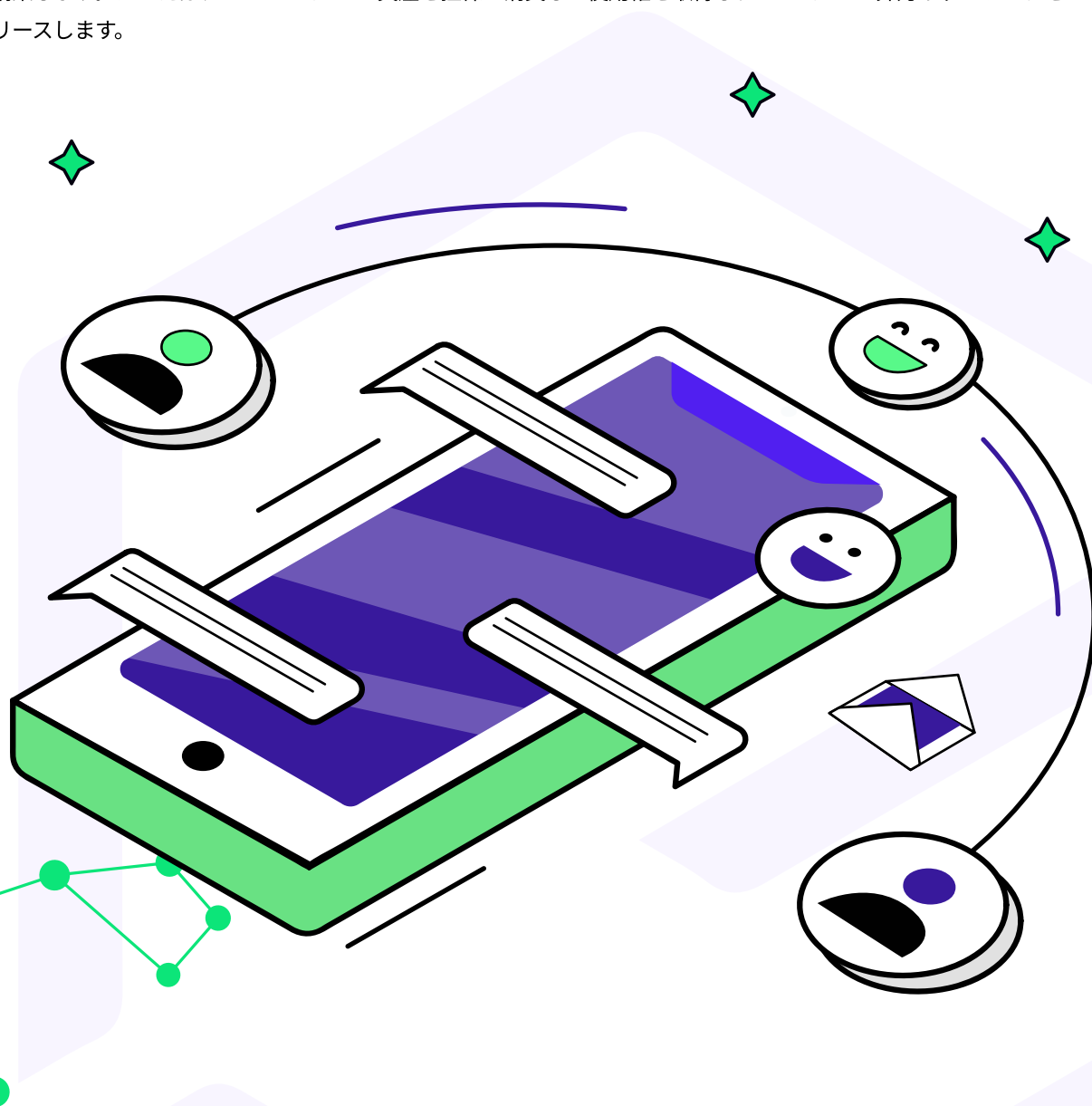


5.8 トークンの応用

GATトークンは生態系内でのガバナンストークンであり、ネットワーク内の重要な決定はすべて、DAOの形式でGATトークンによる算力投票を通じて行われます。

ガバナンス以外にも、GATトークンは生態系内での重要な機能トークンとしての役割を果たします。Gatherネットワーク内のすべての清算シーンは、GATを使用して支払うことができます。たとえば、特定のソーシャル機能、権利などです。

Gatherは分散型計算ネットワークであり、将来的に他の企業やプロジェクトは、GATを算力の消費資産として使用することしかできません。私たちは他の協力者との連携により、GATに機能を付与する新しいトークン経済システムを構築します。たとえば、ChainlinkはLINK資産を担保と消費して使用权を取得し、RNDRIはHNT算力ネットワークをリースします。





6. Gatherネットワークのアプリケーションシナリオ

6.1 DAPPの分散型小プログラム - Gather小プログラム

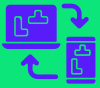
NA公鏈DApp技術を採用し、分散型のアプリケーションがGatherネットワーク上で実現されます。ユーザーは、Gather小プログラムなど、さまざまな種類のDAPPアプリケーションを利用できます。これはNA公鏈技術に基づいた分散型アプリケーションであり、ユーザーにより便利で効率的で安全なアプリケーション体験を提供します。

Gather小プログラムの特徴は以下の通りです



分散型

Gather小プログラムDAppは分散型技術を採用しており、中央サーバーや第三者の制御がないため、データの安全性と信頼性が確保されています。



クロスプラットフォーム互換性

Gather小プログラムはクロスプラットフォームで動作し、さまざまなオペレーティングシステムやデバイスで使用できます。ユーザーはいつでもどこでも利用できます。



多様なアプリケーションシーン

Gather小プログラムはさまざまな領域に適用できます。たとえば、eコマース、ソーシャル、教育、金融などがあります。グループメンバーは自動的に小プログラムに関連付けられ、小プログラムのユーザーであると同時にグループのメンバーでもあります。



スマートコントラクトメカニズム

Gather小プログラムにはスマートコントラクトメカニズムが採用されており、自動実行や自動決済などの機能を実現し、取引の効率と安全性を向上させています。



コミュニティガバナンスモデル

Gather小プログラムにはコミュニティガバナンスモデルが採用されており、コミュニティのユーザーが自主的に管理、開発、運営しています。これにより、アプリケーションのオープン性と透明性が確保されます。

Gather小プログラムは、Gatherネットワークに基づいた分散型アプリケーションとして、ユーザーに優れたアプリケーション体験を提供します。



6.2 企業内コミュニケーションツール

Gatherは、企業内のコミュニケーションツールとして使用できます。それは従業員が協力してコミュニケーションし、仕事の効率を向上させるのに役立ちます。同時に、Gatherは安全で信頼性の高いファイルの保存と共有機能を提供し、企業データの安全性と機密性を確保します。Gatherを使用すると、企業は従業員をよりよく管理し、組織し、タスクの割り当てとプロジェクトの管理をより簡単に行うことができます。Gatherは非常に実用的な企業コミュニケーションツールであり、仕事の効率と協力能力を向上させ、企業データの安全性を保護できます。

6.3 Webベースのオンラインカスタマーサポートシステム

GatherはWebベースのオンラインカスタマーサポートシステムとして使用できます。それは企業が顧客の問い合わせに迅速に対応し、顧客満足度とロイヤリティを向上させるのに役立ちます。Gatherはリアルタイムのチャット機能を通じて顧客とカスタマーサポートスタッフが迅速にコミュニケーションし、さまざまな問題を解決できます。同時に、Gatherはテキスト、音声、ビデオなど、さまざまなコミュニケーション方法をサポートしており、さまざまな顧客のニーズに対応できます。

Gatherにはスマートカスタマーサービス機能も備わっており、顧客のニーズを自動的に識別し、適切な解決策を提供できます。これにより、企業は効率と顧客満足度を向上させ、人的カスタマーサービスのコストを削減できます。さらに、Gatherには強力なデータ統計と分析機能が搭載されており、企業が顧客のニーズと行動を理解し、製品とサービスを参考にするのに役立ちます。Gatherのデータ分析機能を使用すると、企業は顧客のニーズと行動をよりよく理解し、製品とサービスを参考にすることができます。さらに、顧客サービスチームをより良く管理し、最適化することができます。

GatherはWebベースのオンラインカスタマーサポートシステムとして、多くの実用的な機能と利点を備えています。企業は顧客満足度と効率を向上させると同時に、人的カスタマーサービスのコストを削減できます。

6.4 スタジオ/コミュニティ交流

Gatherは、スタジオまたはコミュニティ交流プラットフォームとして使用することができます。このプラットフォームでは、ユーザーは自分のグループを作成し、志を同じくする人々を招待して自分の考えや経験を共有することができます。また、ユーザーはトピックやディスカッションを投稿し、オンラインまたはオフラインのイベントを組織してさらに多くの人々を巻き込み、交流と協力を促進することができます。

Gatherのスタジオまたはコミュニティ交流プラットフォームでは、ユーザーは自由に自分のグループを作成し、自分のニーズに応じてグループのトピック、メンバー、ルールを設定することができます。また、プラットフォームはテキスト、音声、ビデオなどのさまざまなコミュニケーション方法をサポートしており、さまざまなユーザーのニーズに対応しています。

さらに、Gatherには強力なデータ統計と分析機能が備わっており、グループ内のメンバーの交流状況や行動を把握し、グループの管理と最適化のための参考情報を提供します。Gatherのデータ分析機能を使用すると、ユーザーはグループ内のメンバーの交流状況や行動をよりよく理解し、グループの管理と最適化に役立ちます。



6.5

ビジネス交渉グループ

Gatherは、オンラインビジネス交渉プラットフォームであり、企業により効率的で便利なビジネス協力の機会を提供することを目的としています。Gatherを使用すると、企業はビジネス交渉グループを作成し、パートナー、顧客、ビジネスパーソンを招待してグループ内でビジネス交流と交渉を行うことができます。



グループチャット機能

Gatherはグループチャットの作成をサポートしており、すべてのグループ参加者はグループチャット内でコミュニケーションを行う必要があります。情報の公開と透明性が確保されます。



プライベートチャットの禁止

ビジネスパーソンやパートナーが個人的に取引を行うのを防ぐため、Gatherはグループメンバー間の個人的なチャットや友達追加を禁止しています。



匿名コミュニケーション

ユーザーのプライバシーを保護するため、Gatherはユーザーが匿名でグループチャットに参加できるようにしています。ユーザーのウォレットアドレスやGIDは表示されません。



公平性

Gatherは厳格なルールと手順を設定し、すべてのグループ参加者がビジネスパーソンを迂回して個人的な取引を行えないようにします。ビジネスの公正性と透明性が保証されます。



セキュリティ

Gatherはデータの暗号化、悪意のある行動の防止など、さまざまなセキュリティ対策を採用しており、ユーザーの情報とコミュニケーションの安全性を確保しています。



利便性

Gatherのインターフェースはシンプルで操作が簡単であり、ユーザーは簡単にビジネス交渉グループを作成して管理することができます。

Gatherは非常に実用的なオンラインビジネス交渉プラットフォームであり、企業がビジネス効率と協力の機会を向上させると同時に、ビジネスの公正性と透明性を確保します。



群チャット機能



プライベートチャットの禁止



匿名交流



公正性



安全性



使いやすさ



6.6 プロジェクト布教グループ

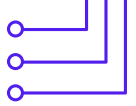
Gatherはプロジェクト布教プラットフォームとして使用することができます。このプラットフォームでは、ユーザーは自分のプロジェクト布教グループを作成し、潜在的な顧客、投資家、パートナー、チームメンバーを招待してプロジェクト情報や資料を共有し、自分のプロジェクトを宣伝して推進することができます。

Gatherのプロジェクト布教プラットフォームでは、ユーザーは自分のプロジェクト布教グループを自由に作成し、自分のニーズに合わせてグループのテーマ、メンバー、ルールを設定することができます。また、プラットフォームはテキスト、音声、ビデオなどのさまざまなコミュニケーション方法をサポートしており、さまざまなユーザーのニーズに対応しています。

Gatherのプロジェクト布教グループでは、ユーザーはプロジェクト情報や資料、イベントを投稿し、自分の考えや経験を共有することができます。また、他の人をグループに招待してディスカッションや交流を行い、プロジェクトの宣伝と協力を促進することができます。

Gatherには強力なデータ統計と分析機能が備わっており、ユーザーはグループ内のメンバーの交流状況や行動を把握し、グループの管理と最適化のための参考情報を提供します。Gatherのデータ分析機能を使用すると、ユーザーはグループ内のメンバーの交流状況や行動をよりよく理解し、グループの管理と最適化に役立ちます。Gatherは、プロジェクトの布教プラットフォームとして使用するとき多くの実用的な機能と利点を提供します。





7. Gatherネットワークの自治と発展

7.1 国家エージェントによる共通認識の確立

Gather社は、世界中に国家レベルの代理店とスーパーノードを設立することで、世界のユーザーに高品質なサービスを提供する効率的なアーキテクチャを構築しました。

このアーキテクチャにより、Gather社は強力な共通認識と信念を持ち、国家レベルの代理店がブランドの宣伝、ロードショー、販売活動を積極的に行い、より多くの人々がGather社のプライベートソーシャル製品を利用し、Gather社の共通認識のマイナーとなるように誘引します。

このグローバル化の時代において、情報交換とプライバシー保護はますます重要となっています。

Gather社が構築したプライベートチャットシーンは、この要求を満たすためにうってつけです。これにより、ユーザーは情報の漏洩や監視の問題を心配することなく、安全でプライベートなコミュニケーション体験を提供します。また、Gather社はスーパーノードと国家レベルの代理店を設立することで、グローバルでの展開を加速しました。これらのスーパーノードと代理店は、市場の拡大を支援するだけでなく、安定した信頼性の高いサポートを提供し、ユーザーが一貫して優れた体験を楽しめるようにします。Gather社のこのアーキテクチャ設計は、将来への強い信念を反映しています。

Gather社は、ブロックチェーン技術の普及と発展により、暗号通貨がますます注目されると信じています。したがって、スーパーノードと国家レベルの代理店のウィンウィンメカニズムを確立することにより、Gather社はユーザーにより完璧なサービスとより強力なネットワークインフラを提供するだけでなく、将来の成長で先行することができます。業界のリーダーとなります。

7.2 DAO

Gather社は、ブロックチェーン技術を使用して、より効率的かつ安全な情報交換と意思決定を実現するために、オンチェーンの自律を実現しました。

ブロックチェーン技術により、Gather社は分散型の自律機構を構築し、ユーザーが自分のデータと情報を自律的に管理し、アルゴリズム投票の方法でコミュニティのガバナンスに参加できるようにしました。

この自律機構は、情報交換の効率と安全性を向上させるだけでなく、より多くのユーザーがコミュニティの意思決定に参加できるようにし、コミュニティの健全な発展を促進します。同時に、Gather社はオンチェーンガバナンスを通じて、ユーザーの権利と利益を保護し、Gather社の製品とサービスを信頼して利用できるようにしています。

Gather社は、効率的なアーキテクチャの構築、安全なコミュニケーション体験の提供、グローバルな展開の加速、およびオンチェーン自治の実現などの手段を通じて、ユーザーにより完璧で安全で信頼性の高いサービスを提供し、技術に専念し、アプリケーションに深く関与しています。将来的には、暗号通貨業界のアプリケーションリーダーになるチャンスがあります。

7.4 ロードマップ

Gather社は、会社の将来の発展方向と計画を示す詳細なエコシステムロードマップを策定しました。

このエコシステムロードマップには以下の項目が含まれます：

● 2023年 Q1

- 香港Gather有限公司の設立
- 香港デジタルハーバー
- Web3.0産業園への進出

● 2023年 Q2

- Gatherネットワークの正式な開発段階に入る
- チームの拡大
- DePINハードウェアデバイスの設計開始
- アジア太平洋大学との協力関係を築く

● 2023年 Q3

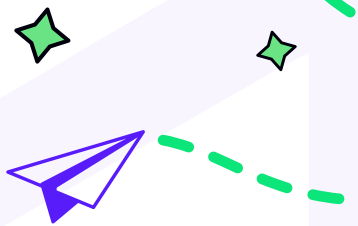
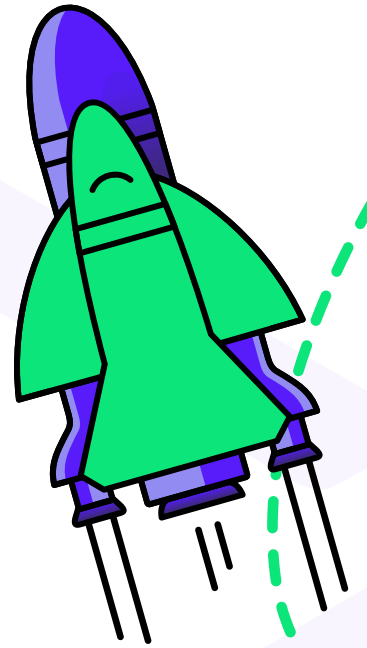
- 香港で初の製品発表会を開催
- DePINデバイスの予約販売開始
- 日本とマレーシアの国家代理店と契約

● 2023年 Q4

- マレーシアのデジタル省との正式な協力関係の確立
- 製品開発と検証
- デバイスの生産開始
- パブリックチェーンネットワークの構築
- 投資額は2600万マレーシアリングットを見込む
- クアラルンプールのデータセンターと施設の建設
- 韓国の国家代理店と契約

● 2024年 Q1

- コロンビア大学ブロックチェーン研究所に加盟
- カンボジア、ラオス、サモア、ベトナム、ドバイと契約
- 5000台のハードウェアがクアラルンプールのデータセンターに到着
- Gatherネットワークのさらなる内部テスト
- G-boxの販売、テスト、起動
- 新加坡、インドの代理店契約を予定



● 2024年 Q2

- ケンブリッジ大学Web3.0ラボに加盟
- ドバイWeb3.0エリアに加盟
- クアラルンプールのデータセンターのオープニングセレモニー
- 同時に、政府サービスデータベース機能の開始
- マレーシア政府のデジタル化されたオフィス需要のテスト運用
- GATの取引所上場
- Gatherアプリケーションのオンライン化

● 2024年 Q3

- GatherのOSテストモジュールがオンライン化
- DAppの開発とデプロイが可能に
- Gatherベースのエコシステム運用が可能に
- G-BOX 2世代製品の設計

● 2024年 Q4

- G-BOX 2世代製品の内部テスト
- より多くの協力機関の獲得

● 2025年 Q1

- G-Boxの2世代製品のテストオンライン化
- グローバルデータセンターの展開テスト
- 通信情報処理のAI化テスト

● 2025年 Q2

- Gatherネットワークエコシステムアプリケーションの展開を進める
- 開発者コミュニティの設立
- 各機関との協力によるGatherネットワークアプリケーションの孵化

● 2025年 Q3-Q4

- G-Boxノードの運用台数10万台
- 地上データセンターの展開が3つ以上
- 衛星信号交換需要を満たす
- グローバル通信能力のテスト

● 2026年

- Gather Phone製品ラインの立ち上げ
- Gatherネットワークに基づくグローバル通信の実現
- Gatherネットワークに基づくデータ通信の実現

● 2027年

- Gatherオペレーティングシステムの正式オンライン化
- Gatherネットワークデジタル銀行の立ち上げ





8. Gatherネットワークのビジネス価値

Gatherネットワークのビジネス価値と応用は、主に以下の点に現れます：



データの安全性

Gatherネットワークは、先進的な暗号技術と分散型ストレージ方式を採用することで、ユーザーのデータの安全性とプライバシーを確保しています。この高いセキュリティは、多くの企業や個人ユーザーがGatherネットワークを使用してデータを保存・転送することに引き続きビジネス価値をもたらします。



高速なデータ転送

Gatherネットワーク内のクラウドスペースは、高速なデータ転送機能を提供し、ユーザーがデータやファイルを迅速にアップロードおよびダウンロードできるようにします。この高速なデータ転送は、作業効率とユーザーエクスペリエンスを向上させ、ビジネス価値をもたらします。



柔軟な拡張性

Gatherネットワーク内のクラウドスペースは、ユーザーのニーズに応じて柔軟に拡張でき、ユーザーが必要に応じてストレージスペースを追加したり、ストレージ構成を調整したりできます。この柔軟性は、異なるユーザーのニーズを満たし、ビジネス価値をもたらします。



コミュニティガバナンスモデル

Gatherネットワークはコミュニティガバナンスモデルを採用しており、コミュニティのユーザーが自己管理、開発、運営を行うことで、アプリケーションのオープン性と透明性を保証しています。このコミュニティガバナンスモデルは、より多くの開発者や社会人が参加し、ビジネス価値をもたらします。



分散型アプリケーション

Gatherネットワークは分散型アプリケーションをサポートしており、ユーザーはGatherアプリなどのさまざまなDAppアプリケーションを利用できます。これらの分散型アプリケーションは、さまざまなユーザーのニーズを満たし、ビジネス価値をもたらします。



プラットフォーム間の互換性



Gatherネットワーク内のクラウドスペースは、異なるオペレーティングシステムやデバイスで使用できるようにすることで、プラットフォーム間の互換性を実現しています。このクロスプラットフォームの互換性は、より多くのユーザーがGatherネットワークを利用し、ビジネス価値をもたらします。

多様な応用シーン

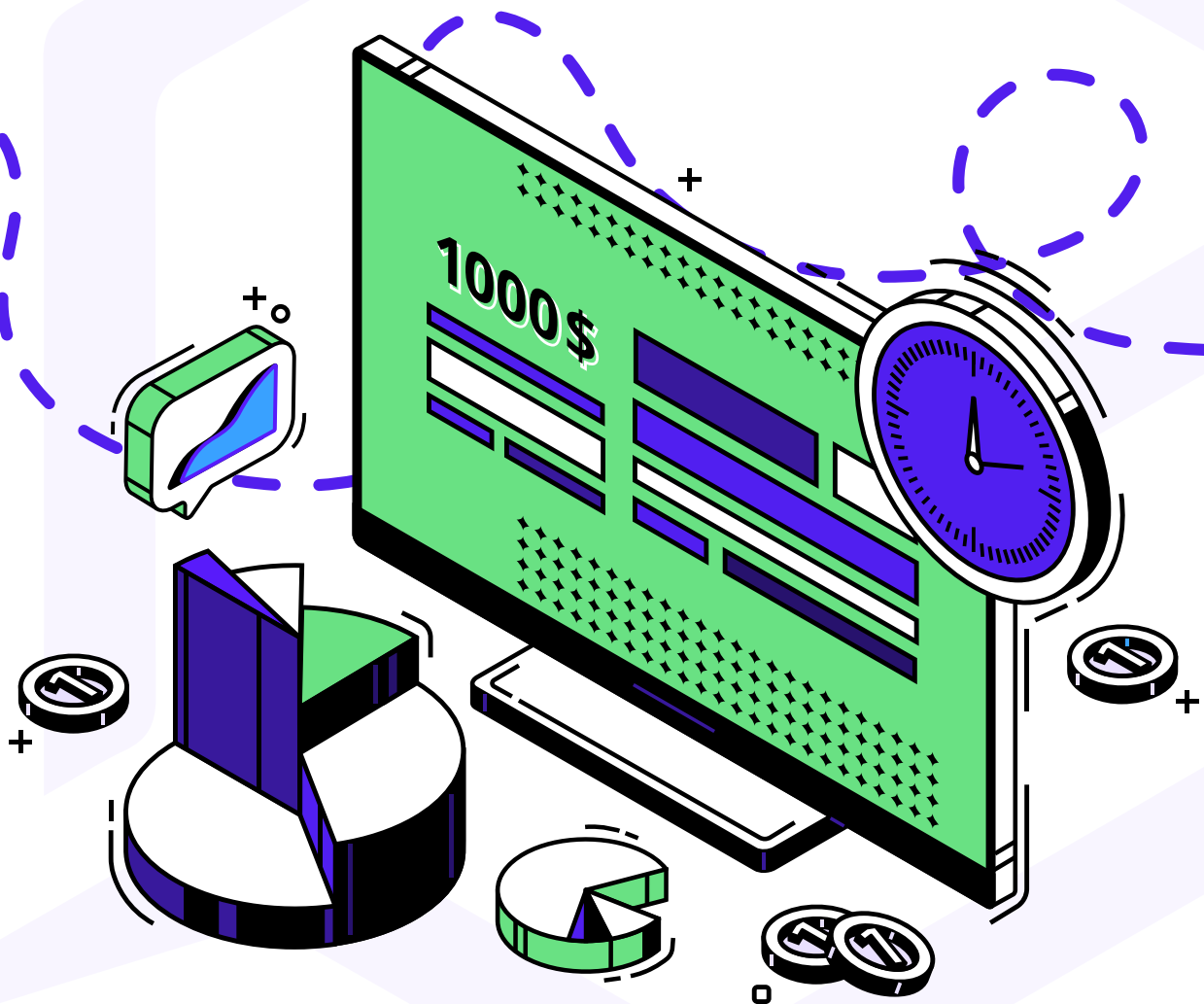


Gatherネットワーク内のクラウドスペースは、電子商取引、ソーシャルメディア、教育、金融などのさまざまな分野に応用でき、ユーザーに多様な応用シーンを提供します。この多様性は、さまざまなユーザーのニーズを満たし、ビジネス価値をもたらします。

分散型クラウドコンピューティングセンター



独自のDePINシステムに基づき、異なるクラウドコンピューティングニーズのために長期間計算リソースを提供し、Web3時代の新しい算力源になります。





9. チーム

9.1 メッセージ

私たちのチームは、情熱と創造性に溢れたメンバーで構成されています。彼らは異なる分野やバックグラウンドから来ていますが、共通してユーザーに最高の製品とサービスを提供することに取り組んでいます。

私たちのチームは豊富な技術開発経験と管理経験を持ち、市場の変化やユーザーの要求に迅速に対応し、製品とサービスを改善し、ユーザーエクスペリエンスと満足度を向上させることができます。同時に、私たちはチームビルディングと才能の育成に注力し、従業員に良好な労働環境と成長の機会を提供し、チームメンバーが自己の能力と潜在能力を十分に発揮できるよう支援しています。

私たちは、常にイノベーションと進取の気持ちで取り組むことで、激しい市場競争の中で不屈の地位を確立することができますと信じています。私たちはさらなる戦略的パートナーシップを構築し、ビジネスの成長と拡大を共に推進し、ユーザーにより豊かで包括的なサービスを提供することを願っています。

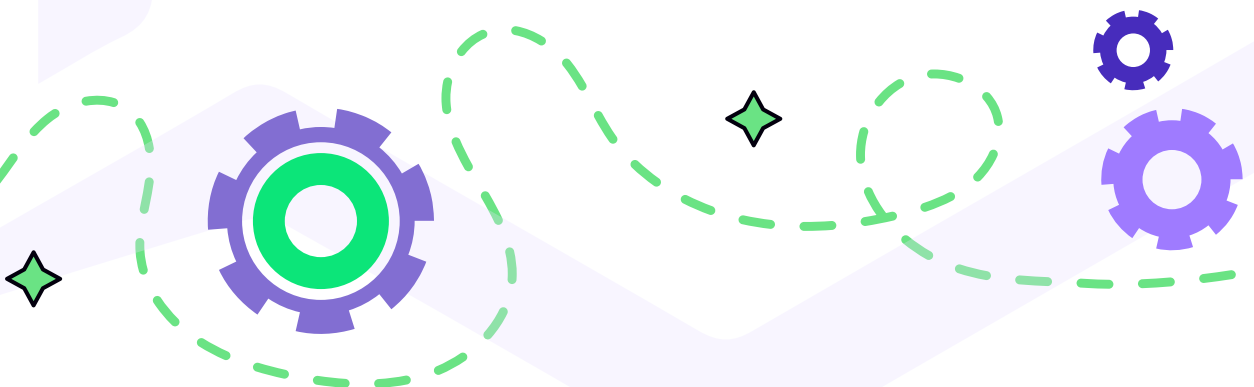
9.2 リーダーシップ

Gather社のリーダーは、深い技術的背景と豊富な管理経験を持つ専門家です。

彼は多くの有名なテクノロジー企業で技術開発や管理のポジションを務め、豊富な技術と管理の経験を積み上げてきました。彼は市場トレンドとユーザーの要求を把握し、ディテールと実行力に注力しています。彼は市場の変化とユーザーのフィードバックに迅速に対応することができます。

Gather社のリーダーとして、彼はチームビルディングと才能の育成に重点を置き、従業員の成長と発展に注力し、チームメンバーが自己の能力と潜在能力を十分に発揮できるようサポートしています。同時に、彼はパートナーとの協力とコミュニケーションを強化し、ビジネスの成長と拡大を共に推進しています。

将来の発展では、彼はチームを率いて常にイノベーションと進取の気持ちで取り組み、製品の品質とサービスレベルを向上させ、ブランドの宣伝と市場開拓を強化し、ユーザーにより優れた、便利で効率的なサービスを提供していくことを続けます。同時に、彼は積極的に環境保護と社会貢献を提唱し、社会への貢献をさらに増やしていく予定です。



10. 協力と機関

9.1 Message

Gatherは過去の開発と技術検証の過程で、世界中の優れた企業、機関、政府機関から多くの技術協力支援を受けています。これらの企業、機関、政府機関は、今後もGatherネットワークの開発、検証、応用などの段階に引き続き参加し、またGatherは将来さらに多くの協力組織がこの事業に参加することを期待しています。

Gatherの一部の協力機関の紹介です：



1. マレーシアデジタル省

かつてのマレーシア通信・デジタル省で、2023年12月12日にマレーシア通信・デジタル省が二つに分かれ、新しいデジタル省が設立され、アナウン首相がデジタル省長官に任命され、またマレーシア国民行動党の代行議長であるゴビン・シンがデジタル省長官に任命され、サラワク国民党の副議長であるワイルソン・ウガック・アナク・クンボンが副長官に任命されました。2023年の早い時期に、マレーシアデジタル省は、基本的な通信機器、ネットワークセキュリティ、およびデジタル投資の3つの主要な焦点を確立しました。

関連する公共団体には次のものがあります

- マレーシアデジタル経済機構 (MDEC)
- マレーシアネット情報センター (MYNIC Berhad)
- マレーシアデジタル機関 (MyDIGITAL Corporation)
- マレーシアネットワークセキュリティ機関 (CSM)
- 国家デジタル会社 (DNB)



數碼港
Cyberport



5. ドバイWeb3.0エリア

2016年に、ドバイはグローバルブロックチェーン委員会を設立し、2020年までにブロックチェーンアプリケーションを全面展開し、世界で初めてブロックチェーンを完全に活用する地域になる計画を立てました。2020年、ドバイは「2020年ドバイブロックチェーン戦略」を発表し、将来的にはブロックチェーンによって駆動される最初の都市になることを望んでいます。ドバイの人工知能とWeb 3.0エリアがドバイの業界リーダーである規制制度の支援を受けており、これはUAEが人工知能とWeb3の世界的リーダーになるというビジョンと一致していると述べました。

2. アジア太平洋工科大学

アジア太平洋工科大学（Asia Pacific University of Technology & Innovation）は、マレーシアのトッププライベート大学の一つであり、科学技術、革新、創造性を組み合わせた教育を提供し、世界各地で重要な役割を果たす能力を持つ人材を育成しています。この大学は国内外で多くの名声ある賞を受賞しています。Gather Labsと共同で人材育成、トレーニング、選抜システムを構築しています。

3. 香港デジタルポート

デジタルポートは、金融テクノロジー、電子商取引、IoT/ウェアラブルテクノロジー、ビッグデータ/人工知能を含む4つのデジタルテクノロジー領域の集中開発を行っており、香港のスマートシティの発展を推進しています。デジタルポートは、トップクラスのテクノロジー施設と共に、包括的な付加価値サービスを提供するための専門チームを備え、香港のデジタルテクノロジー業界の旗艦となることを目指しています。

4. コロンビア大学ブロックチェーン研究センター

2018年7月17日、コロンビア大学はIBMとの協力でニューヨーク市マンハッタン校区にコロンビア大学-IBMブロックチェーンおよびデータ透明化研究センターを設立することを発表しました。このセンターは、学術と技術の専門知識を組み合わせ、ブロックチェーンアプリケーションを育成します。センターは、データの透明性とブロックチェーン技術の研究開発および業界間の応用を推進し、データ監督の専門的なアドバイスを提供し、教育とインターンシップを通じて起業家の知識とスキルを向上させます。



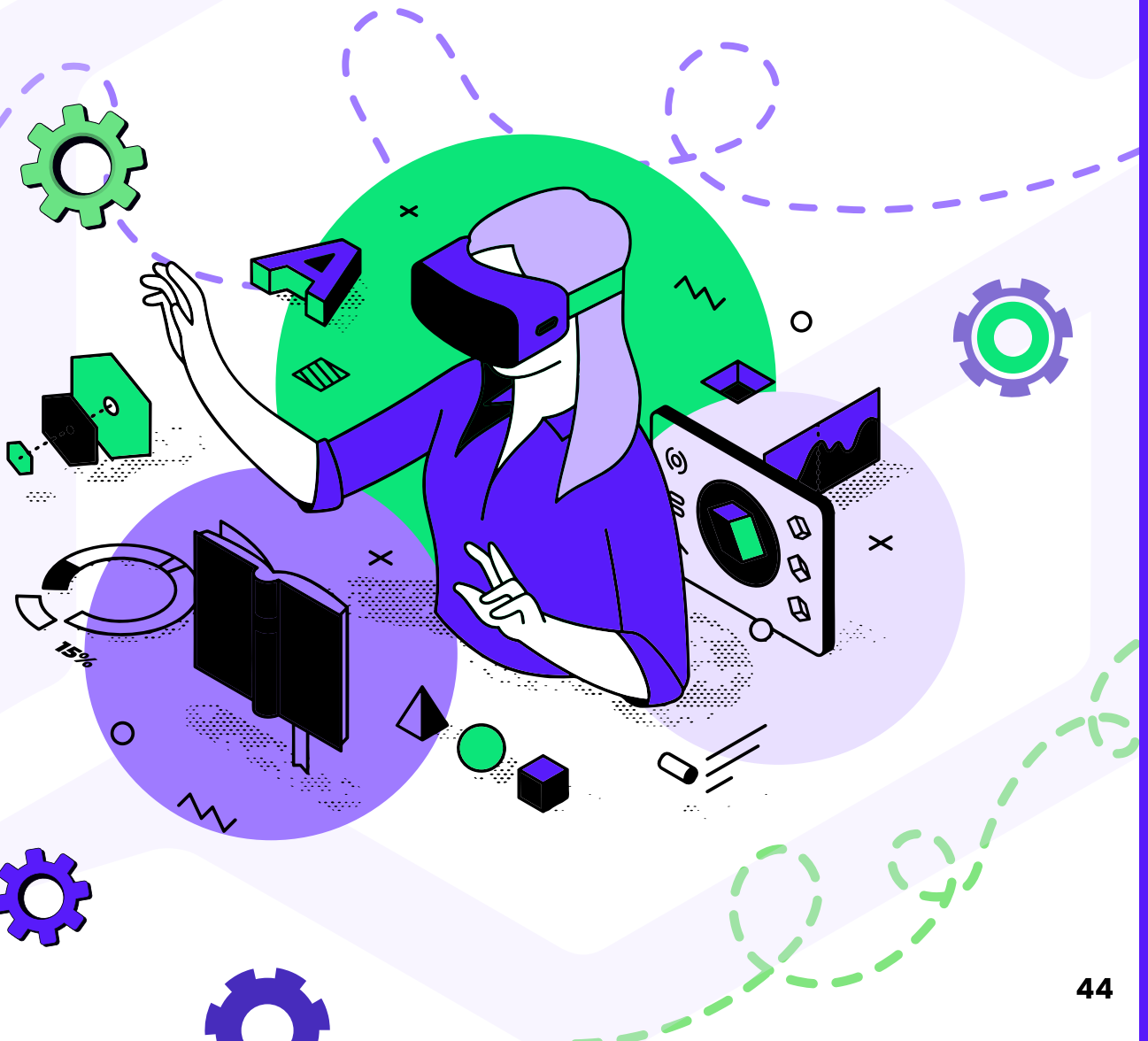
6. ケンブリッジ大学Web3.0ラボ

ケンブリッジ大学Web3.0ラボは、BinanceによってBlockChain Academyの産業開発に招待された専門ラボです。このラボは、ブロックチェーンを基盤とした多様なアプリケーションシナリオに焦点を当てており、特にゼロ情報原則と先端の暗号技術に関するものです。技術を通じてユーザーにエンドツーエンドの暗号化能力を提供し、個人データ、金融取引、およびユーザーインタラクションを制御できるようにします。暗黙の信頼仮定を排除し、ユーザーのプライバシーを優先することで、ブロックチェーン技術のグローバルな採用を促進します。



7. NVIDIA Web3ラボ

Gatherは、2024年に設立されたNVIDIAのWeb3ラボのホワイトリストメンバーの一つとなっています。NVIDIAは2020年以来、GPUなどの強みを活かしてWeb3で巨大なビジネス価値を築いてきました。POSメカニズムの拡大に伴い、NVIDIAはDePINレースのプロジェクトに重点投資し、分散型計算力とセキュアなネットワーク構築に有利なプロジェクトをサポートしており、これによりNVIDIAはチップ分野のリーダーシップをより発揮できるでしょう。



11. 国家法律

香港のテクノロジー企業であるGatherは、国家の法律法規を厳守し、企業の社会的責任を積極的に果たしています。合法かつ規制順守の経営こそが、企業の長期的な発展と利用者の利益を確保することを理解しています。

将来の発展において、Gatherは国家の法律法規の学習と遵守をさらに強化し、監督機関の業務に積極的に協力し、企業のビジネスが法的に規制順守されていることを確保します。同時に、データセキュリティとプライバシー保護措置をさらに強化し、利用者データの安全性と機密性を確保します。

さらに、Gatherはパートナー企業の審査と管理を強化し、パートナー企業の合法性と規制順守を確保し、利用者により安全で安定したビジネス環境を提供します。

Gatherは常に合法かつ規制順守の経営理念を堅持し、利用者により安全で信頼性の高い製品とサービスを提供します。





12. 地域管理

Gatherは、世界中の多くの利用者とパートナーを持ち、異なる地域の利用者のニーズをより良く満たし、より個別化されたサービスを提供するために、完全な地域管理体系を確立しています。

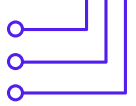
地域管理に関して、Gatherは多くの支社と代表事務所を設立し、世界各国の主要地域をカバーしています。これらの支社と代表事務所は地域の利用者やパートナーと緊密に連携し、市場の需要や利用者のフィードバックを把握し、地域の利用者により心地よく、包括的なサービスを提供します。

さらに、Gatherは多言語のカスタマーサービスチームを設立し、多言語サービスを提供し、さまざまな国や地域の利用者の言語ニーズを満たします。同時に、地域の文化や習慣を理解し尊重し、地域の習慣やニーズにより適したサービスを提供します。

地域管理に関して、Gatherは地域の利用者により個別化された、包括的なサービスを提供し、地域の利用者やパートナーと緊密な協力関係を築き、ビジネスの発展と強化を共に推進します。

Gather 地域管理システムは、ユーザーに、よりパーソナライズされた包括的なサービスを提供すると同時に、地域のユーザーやパートナーと緊密な協力関係を確立し、共同でビジネスの開発と成長を促進することを目的としています。





13. トークンセカンダリマーケットのリスク

暗号通貨領域の企業であるGatherは、トークンセカンダリマーケットのリスクの重要性を深く認識しています。トークンセカンダリマーケットとは、トークンの発行市場以外の取引市場であり、トークンの流動性の重要な源です。しかし、トークン市場の波乱と不確実性のため、セカンダリマーケットにはリスクが存在します。

以下は、トークンセカンダリマーケットが直面する可能性のあるいくつかのリスクです：



市場の波乱リスク

トークン市場の価格は大きく変動する可能性があり、市場センチメント、マクロ経済要因、政策変更などの要因によって急激に変動することがあります。これにより、投資家は短期間で大きな損失に直面する可能性があります。



流動性リスク

Gather社はトークンの流動性を確保する努力をしていますが、トークン市場には依然として流動性不足のリスクがあります。一部の場合には、投資家が望む価格でトークンを売却することができない場合があります。



監視リスク

暗号通貨の急速な発展に伴い、各国政府はより厳格な規制政策を導入する可能性があり、これによりトークン市場の波乱と不確実性が増加する可能性があります。



技術リスク

トークン技術自体にもリスクがあり、ハッキング攻撃、ネットワーク障害、技術的欠陥などの問題が発生する可能性があります。これらはすべてトークン価格に負の影響を与える可能性があります。

これらのリスクを軽減するために、Gatherはトークンのセキュリティを強化し、市場の透明性と流動性を向上させ、監督機関とのコミュニケーションと協力を強化するなどの多くの措置を講じています。同時に、投資家には投資前に市場状況とリスクを十分に理解し、慎重な意思決定をすることをお勧めします。

